

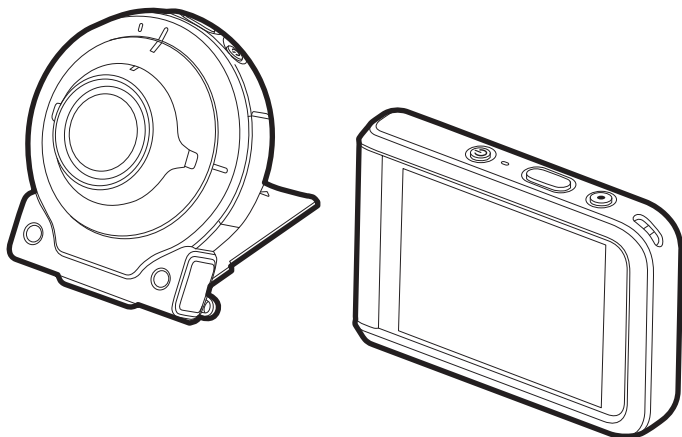
CASIO®

JA

デジタルカメラ

EX-FR100L

取扱説明書



このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本機をご使用になる前に、必ず別冊「クイックスタートガイド」の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も、大切に保管してください。
- 本製品に関する情報は、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト (<http://casio.jp/dc/>) またはカシオホームページ (<http://casio.jp/>) でご覧になることができます。

カシオメンバーズ会員サイト登録のおすすめ

カシオメンバーズは、カシオ製品にご興味をお持ちの方向けに提供するカシオの会員サイトです。

ご入会されますと以下のサービスをご利用いただけます。

1. 様々なカシオ製品のユーザー登録ができます。
2. キャンペーンの応募などに便利です。
3. 情報満載のメールマガジンをご登録いただけます。

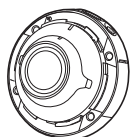
<https://members.casio.jp/jp/>



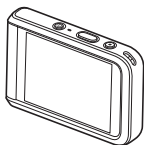
エクシリム
EXILIM

付属品を確認する

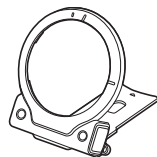
箱を開けたら、以下の付属品がそろっているか確認してください。そろっていないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



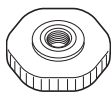
カメラ
(EX-FR100LCA)



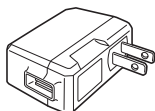
コントローラー
(EX-FR100LCT)



ヒンジユニット
• あらかじめカメラに装着されています。



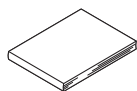
三脚ナット



USB-ACアダプター
(AD-C54UJ)



マイクロ
USBケーブル



クイックスタート
ガイド(保証書付き)

あらかじめご承知ください

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- 万一、EXILIM Connect(アプリケーションソフト)の使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えません。
- 取扱説明書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

液晶パネルについて

液晶モニターに使用されている液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は99.99%以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

必ず電池を充電してお使いください。

カメラとコントローラーには、リチウムイオン充電電池が内蔵されています。お買い上げ後、電池は充電されていませんので、カメラとコントローラーの両方の電池を順番に充電してからご使用ください。

撮影前は試し撮りを

必ず事前に試し撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

目次

付属品を確認する	2
あらかじめご承知ください	3
各部の名称	7
液晶モニターの表示内容と切り替えかた	8

■ はじめにご覧ください(基本的な操作) 11

このカメラでできること	11
アタッチメントを使う	13
■ コントローラー	13
■ ヒンジユニット	14
■ 三脚ナット	15
タッチパネルを使う	16
箱を開けたら、電池を充電する	17
電源を入れる/切る	22
最初に電源を入れたら時計を合わせる	24
メモリーカードを準備する	25
■ 使用できるメモリーカード	25
■ メモリーカードを入れる	26
■ 新しいメモリーカードをフォーマット(初期化)する	27
静止画を撮影する	28
■ オート撮影モードを設定する	28
■ 撮影する	29
撮影した静止画を見る	31
撮影した静止画や動画を消去する	31
静止画撮影時のご注意	33

■ 撮影する(応用) 34

撮影項目を設定する	34
撮影モードを設定する	34
■ 何枚も連続して撮影する	(高速連写) 35
■ いろいろな作風で撮影する	(アートショット) 36
■ 人物の顔と風景を美しく撮影する	(メイクアップアート) 37
脚の長さを強調した全身写真を撮影する	(美脚ガイド) 38
イベントなどの様子を定期的に撮影する	(インターバル撮影) 39
ズーム撮影する	42
動画を撮影する	43

■ よりよい撮影のための設定 46

撮影メニューを使う	46
■ 人物の顔を美しく撮影する	(メイクアップ) 47
■ 好きな位置にピントを合わせて撮影する	(タッチ撮影) 47
■ 動画撮影時の手ブレを軽減する	(動画手ブレ補正) 48
■ 静止画サイズを変更する	(静止画サイズ) 49
■ 動画の画質を設定する	(動画画質) 50

■ 明るさを補正する	(明るさ)	50
■ 色合いを調整する	(ホワイトバランス)	51
■ ISO感度を変える	(ISO感度)	52
■ ピントの合わせ方を変える	(フォーカス方式)	52
■ 自分撮りをする	(鏡面反転)	53
■ 動画撮影時の風の音を低減する	(風音低減)	53
■ 撮影直後の画像を表示する	(撮影レビュー)	54

■ 静止画や動画を再生する 55

撮影した静止画を見る	55
撮影した動画を見る	55
画像を一覧表示する	56
画像を拡大して表示する	56
1日のできごとを動画にする	(ハイライトムービー) 56
1日のできごとを1枚の画像にする	(ハイライトフォト) 58
画像を評価する	(ハイライトスコア) 59
タイムラプス動画を作成する	(タイムラプス) 60

■ 再生時のその他の機能(再生機能) 62

再生メニューを使う	62
■ 画像を回転させる	(回転表示) 62

■ カメラとスマートフォンを接続する(無線接続) 63

スマートフォンでできること	63
無線モードについて	65
スマートフォンをカメラに接続するための準備	66
■ スマートフォンにEXILIM Connectをインストールする	66
■ 最初に無線接続設定をする	67
スマートフォンをカメラのリモコンとして使う	(スマートフォンで撮影) 70
カメラで撮影した画像を選んでスマートフォンに送る	(選択して送る) 71
カメラで撮影した画像をスマートフォンで見る	(スマートフォンから見る) 72
無線接続の設定をする	73
■ 撮影した画像をスマートフォンに自動で送信する	(自動送信) 73
■ 自動送信で送信する画像を選ぶ	(自動送信ファイル設定) 74
■ 静止画をリサイズしてスマートフォンに送信する	(送信時リサイズ) 74
■ 静止画に位置情報を付け加える	(位置情報) 75
■ 無線LAN接続時のカメラのパスワードを変更する	(無線LANパスワード) 76
■ ペアリングを解除する	(ペアリング解除) 76

■ プリント(印刷)する 77

パソコンを使って印刷する	77
--------------	----

■ パソコンを利用する

78

パソコンを使ってできること	78
Windowsパソコンを利用する	78
■ 画像をパソコンに保存する／パソコンで見る	79
Macintoshを利用する	82
■ 画像をパソコンに保存する／パソコンで見る	83
ファイルとフォルダーについて	85
メモリー内のデータについて	86

■ その他の設定について

87

液晶モニターの明るさを変える	(液晶設定) 87
液晶モニターに表示される内容を選ぶ	(情報表示) 87
カメラやコントローラーの画面の向きを固定する	(回転ロック) 87
カメラの音を設定する	(カメラ音) 88
パイプレーション機能を使う	(パイプレーション) 88
カメラの日時を設定し直す	(日時設定) 88
日付の表示の並びを変える	(表示スタイル) 89
表示言語を切り替える	(Language) 89
コントローラーがスリープモードになるまでの時間を変える	(スリープ) 89
メモリーをフォーマットする	(フォーマット) 90
各種設定を購入直後の設定に戻す	(リセット) 90
カメラのファームウェアのバージョンを確認する	(バージョン情報) 90

■ 付録

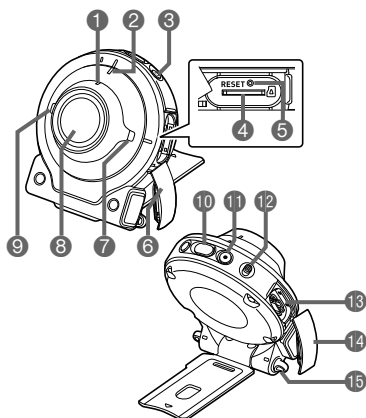
91

耐衝撃性能、防水／防塵性能について	91
使用上のご注意	94
電源について	107
■ 充電について	107
■ 電池に関するご注意	108
■ 海外で使うときは	108
カメラを廃棄するときは	108
メモリーカードについて	111
リセット操作でリセットされる内容	112
故障かな？と思ったら	113
■ 現象と対処方法	113
■ 画面に表示されるメッセージ	116
撮影可能枚数／撮影可能時間	118
主な仕様／別売品	119
索引	123

各部の名称

各部の説明が記載されている主なページを()内に示します。

カメラ部



カメラ部

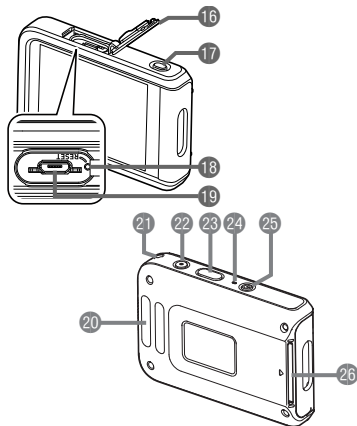
- ① 無線LAN接続確認ランプ (69ページ)
- ② 動作確認ランプ (18、20ページ)
- ③ 【**⏻**】(電源) (22ページ)
- ④ メモリーカード挿入部 (26ページ)
- ⑤ リセットボタン (113ページ)
- ⑥ 【**CARD**】カバー (26ページ)
- ⑦ スピーカー
- ⑧ レンズ
- ⑨ マイク (44ページ)
- ⑩ シャッター (29ページ)

- ⑪ 【**●**】(ムービー) (43ページ)
- ⑫ 【**FREE**】レバー (14ページ)
- ⑬ 【**USB**】端子 (17、19ページ)
- ⑭ 【**USB**】カバー (17、19ページ)
- ⑮ ストラップ取り付け穴

コントローラー部

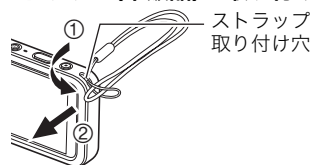
- ⑯ 【**USB**】カバー (17、19ページ)
- ⑰ 【**RELEASE**】ボタン (13ページ)

コントローラー部



- ⑱ リセットボタン (113ページ)
- ⑲ 【**USB**】端子 (17、19ページ)
- ⑳ ストラップ取り付け部
- ㉑ ストラップ取り付け穴 (7ページ)
- ㉒ 【**●**】(ムービー) (43ページ)
- ㉓ シャッター (29ページ)
- ㉔ 動作確認ランプ (18、20ページ)
- ㉕ 【**⏻**】(電源) (22ページ)
- ㉖ ヒンジユニット挿入部 (13ページ)

ストラップ(市販品)の取り付けかた



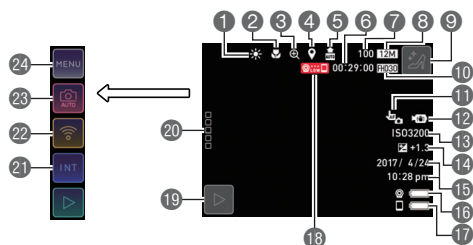
ストラップ
取り付け穴

液晶モニターの表示内容と切り替えかた

液晶モニターには、さまざまな情報がアイコンや数字などで表示されます。

- 下の画面は、情報が表示される位置を示すためのものです。液晶モニターが実際にこの画面のようになることはありません。

■ 静止画撮影時



- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ① ホワイトバランス(51ページ) | ⑬ ISO感度(52ページ) |
| ② フォーカス方式(52ページ) | ⑭ 明るさ(50ページ) |
| ③ デジタルズーム(42ページ) | ⑮ 日付/時刻(24, 88ページ) |
| ④ 位置情報(75ページ) | ⑯ カメラ電池残量(21ページ) |
| ⑤ 自動送信(73ページ) | ⑰ コントローラー電池残量(21ページ) |
| ⑥ 動画撮影可能時間(118ページ) | ⑱ カメラとの通信状況(22ページ) |
| ⑦ 静止画撮影可能枚数
(118ページ) | ⑲ 再生モード切替アイコン(23ページ) |
| ⑧ 静止画サイズ(49ページ) | ⑳ “□□□□□”(呼び出し)アイコン |
| ⑨ 美脚ガイドアイコン(38ページ) | ㉑ インターバル撮影アイコン(39ページ) |
| ⑩ 動画画質(43, 50ページ) | ㉒ 無線モードアイコン(65ページ) |
| ⑪ タッチ撮影の動作(47ページ) | ㉓ 撮影モードアイコン(34ページ) |
| ⑫ 動画手ブレ補正(48ページ) | ㉔ メニューアイコン(46ページ) |

■ 動画撮影時

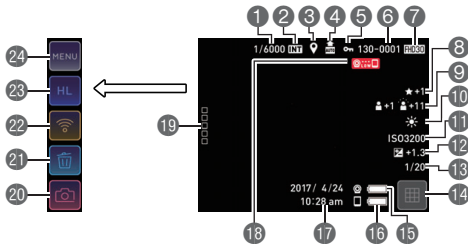


- 1 フォーカス方式(52ページ)
- 2 動画画質(43、50ページ)
- 3 動画の撮影時間(43ページ)

■ 参考

- 撮影時に操作がない時間が続くと、3秒後にアイコンが透過します。

■ 静止画再生時

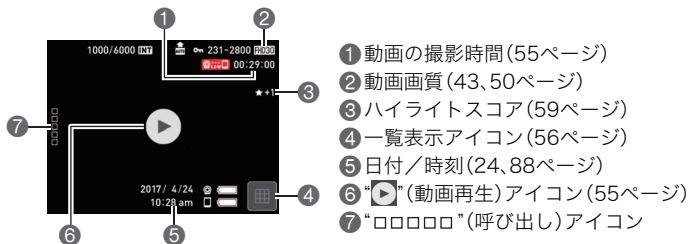


- 1 グループ画像の番号／撮影枚数(35、39ページ)
- 2 グループ画像(高速連写(35ページ)、
インターバル撮影(39ページ))
- 3 位置情報(75ページ)
- 4 自動送信(73ページ)
- 5 プロテクト表示
- 6 フォルダー名－ファイル名(85ページ)
- 7 静止画サイズ(49ページ)
- 8 ハイライトスコア(59ページ)
- 9 メイクアップ(47ページ)
- 10 ホワイトバランス(51ページ)
- 11 ISO感度(52ページ)
- 12 明るさ(50ページ)
- 13 シャッター速度
- 14 一覧表示アイコン(56ページ)
- 15 カメラ電池残量(21ページ)
- 16 コントローラー電池残量(21ページ)
- 17 日付／時刻(24、88ページ)
- 18 カメラとの通信状況(22ページ)
- 19 “□□□□□”(呼び出し)アイコン
- 20 撮影モード切替アイコン(23ページ)
- 21 消去アイコン(31ページ)
- 22 無線モードアイコン(65、72ページ)
- 23 編集アイコン(56、58、59、60ページ)
- 24 メニューアイコン(46ページ)

参考

- 画面の右上に表示されるフォルダー名-ファイル名の意味は下記のとおりです(85ページ)。
例) 100-0023: "100CASIO" というフォルダー内の23番目の画像ファイル

■ 動画再生時



参考

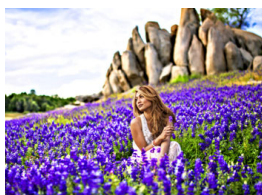
- 再生時に操作がない時間が続くと、3秒後にアイコンが透過します。

はじめにご覧ください(基本的な操作)

このカメラでできること

このカメラには、撮影に便利なさまざまな機能が搭載されていますが、ここでは代表的な機能を紹介します。

■ 撮る



メイクアップアート

屋外での撮影に適したモードです。風景は彩度を強調したり、アート効果をかけます。また、人物にはメイクアップ効果をかけます。

→37ページ



美脚ガイド

画面に表示されるガイドに合わせてポーズをとると、脚が長く見える全身写真が撮影できます。

→38ページ



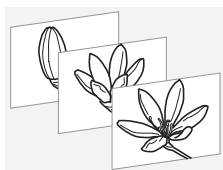
さまざまなスタイルで撮影

カメラとコントローラーはBluetooth® (以下、Bluetoothと略)無線技術で接続します。

ヒンジユニットや三脚ナットを使って、さまざまな角度から撮影できます。

また、カメラを90度回転すると、カメラのスタイルはそのままに撮影の向きだけを変えることができます。

→13ページ



インターバル撮影

一定の撮影間隔で静止画や動画を自動で撮影できます。行動や変化を簡単に記録できます。

→39ページ

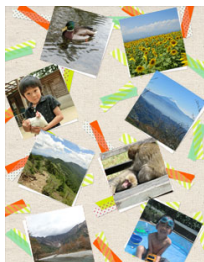


アートショット

見慣れた被写体でも、普段と変わった印象的な写真に仕上げることができます。本機には色々な効果が搭載されています。

→36ページ

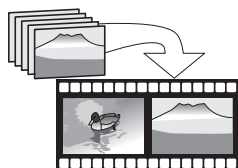
■ 見せる



ハイライトフォト

おすすめの静止画が自動で複数選択され、1枚の静止画に合成できます。

→58ページ



ハイライトムービー

おすすめの静止画や動画が自動で複数選択され、1つのムービー(動画)に編集できます。

→56ページ

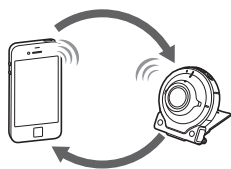


タイムラプス

撮影した静止画をつなぎあわせて動画を作成します。

→60ページ

■ 共有する



無線接続

スマートフォンをカメラのリモコンとして使ったり、撮影した画像をスマートフォンにコピーできます。

→63ページ

アタッチメントを使う

本機は、ヒンジユニットを使うことでカメラにコントローラーを取り付けたり、付属品や別売品の各種アタッチメントを取り付けることができる構造になっています。目的に応じたスタイルで撮影してください。

重要

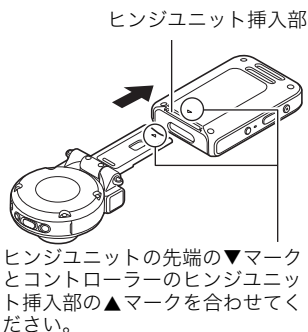
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターが破損することがあります。
- レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮されませんので、レンズ面には触れないでください。レンズ面の汚れは、ブローアール等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

コントローラー

コントローラーをカメラに取り付けて、通常のカメラのように使うことができます。

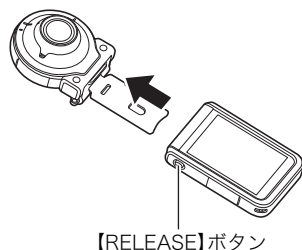
■ 取り付ける

1. カメラのレンズとコントローラーの液晶モニターを同じ向きにして、ヒンジユニットをコントローラーのヒンジユニット挿入部に差し込む
2. “カチッ”と音がするまで押し込む



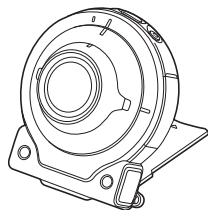
■ 取り外す

1. コントローラーの【RELEASE】ボタンを押しながら、カメラを引き抜く



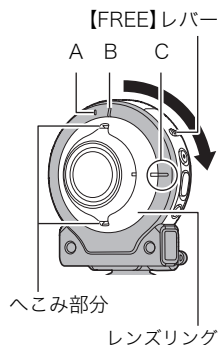
ヒンジユニット

■ ヒンジユニットをスタンド形状にして使用する



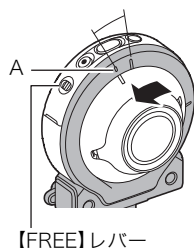
■ 撮影方向を90度変更する

1. カメラの【FREE】レバーを引き下げながら、カメラを時計回りに“カチッ”と音がするまで90度回す
 - カメラの動作確認ランプをヒンジユニットのマーク“C”に合わせます。
 - レンズリングのへこみ部分がある方が撮影される画像の向き(長い方)を示します。

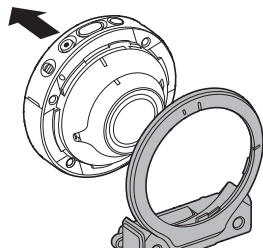


■ ヒンジユニットを取り外す

1. カメラの【FREE】レバーを引き下げながらカメラを反時計回りに約15度回し、カメラの動作確認ランプをヒンジユニットのマーク“A”に合わせる



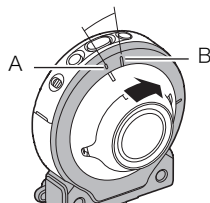
2. ヒンジユニットをカメラから取り外す



■ ヒンジユニットを取り付ける

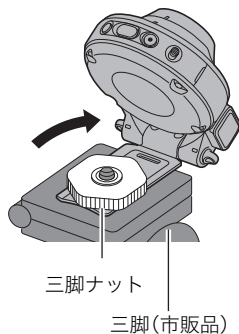
1. カメラの動作確認ランプにヒンジユニットのマーク“A”を合わせる

2. カメラを時計回りに約15度回してカメラの動作確認ランプにヒンジユニットのマーク“B”を合わせ、ヒンジユニットを固定する



三脚ナット

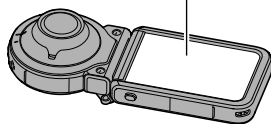
1. 三脚ナットの固定ネジで三脚(市販品)とヒンジユニットを固定する



タッチパネルを使う

本機の液晶モニターはタッチパネルになっています。指を使用して、さまざまな操作ができます。

液晶モニター



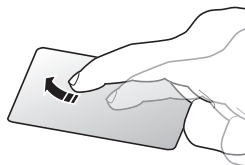
タッチ

画面に触れて離します。
アイコンやメニュー項目を選んだり、設定したりします。



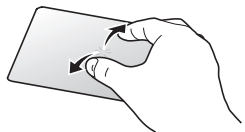
フリック

画面を触り、上下左右にはじくように指を動かします。
前後の画像を表示するときなどに使用します。



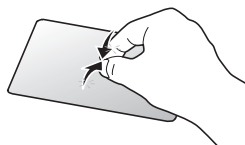
2本の指でタッチしながら広げる

画面を2本の指で触り、触ったまま指を広げます。
画像を拡大して表示します。



2本の指でタッチしながら狭める

画面を2本の指で触り、触ったまま指を狭めます。
画像を縮小したり、画像の一覧を表示します。



重要

- 先がとがったものや硬いもので押さないでください。液晶モニターが破損することがあります。
- タッチパネルは爪では認識しづらいので、指の腹で操作してください。

参考

- 市販の液晶保護シートを貼ると、操作が感知されにくくなります。

箱を開いたら、電池を充電する

カメラとコントローラーには、リチウムイオン充電電池が内蔵されています。お買い上げ後、電池は充電されていませんので、カメラとコントローラーの両方の電池を順番に充電してからご使用ください。

電池は次の2種類の方法で充電できます。

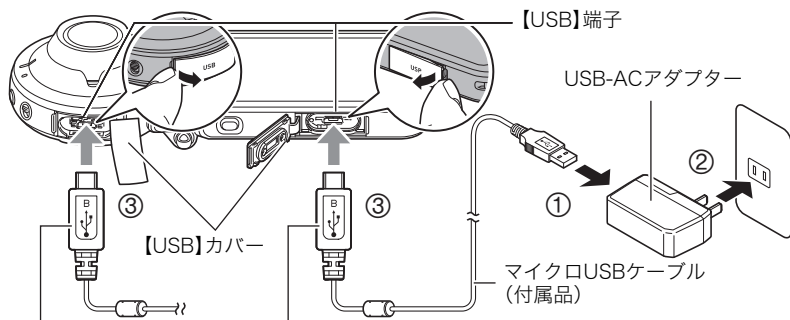
- USB-ACアダプター(AD-C54UJ)を使って充電する
- パソコンのUSB端子から充電する(付属のマイクロUSBケーブルを使用)

■ USB-ACアダプターで充電する

カメラおよびコントローラーの電源が切れた状態で、①、②、③の順に接続します。

充電時間: カメラ: 約2時間15分

コントローラー: 約2時間55分



小さいコネクタ(マイクロUSBコネクタ)の \blacktriangleleft マークを以下の向きにして差し込みます。

カメラ: レンズ側

コントローラー: 液晶モニター側

- カメラおよびコントローラーからアダプターを外す場合は、必ずカメラおよびコントローラー側(上の図の③)から先に外してください。

参考

- USB-ACアダプターで充電中でも、カメラおよびコントローラーの電源を入れると、撮影などの操作ができます。ただし、カメラの場合は充電が停止します。

■ 動作確認ランプの動作

電源が切れた状態のとき

動作	内容
赤点灯	充電中
赤点滅	内部温度の異常／USB-ACアダプターの異常／ 電池の異常(107ページ)／タイマーによる充電終了
消灯	充電完了

電源を入れたとき

- ・ カメラ

動作	内容	内容
緑点灯	カメラ動作中	充電停止
赤とオレンジが ゆっくり点滅	スリープ	充電中
赤と緑が素早く点滅		内部温度の異常／USB-ACアダプターの異常／ 電池の異常(107ページ)／タイマーによる充電終了
緑がゆっくり点滅		充電完了

- ・ コントローラー

動作	内容
オレンジ点灯 (赤とオレンジがゆっくり点滅)	充電中
緑とオレンジが素早く点滅 (赤と緑が素早く点滅)	内部温度の異常／USB-ACアダプターの異常／ 電池の異常(107ページ)／タイマーによる充電終了
緑点灯(緑がゆっくり点滅)	充電完了

- ・ ()内はスリープしたときの動作です。

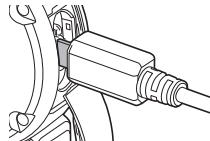
重要

- ・ 長期間電池を使わなかった場合や周囲の温度によっては、充電時間がさらに延びる場合があります。また、動作確認ランプが赤く点滅することがあります。その場合は、107ページをご覧ください。
- ・ 充電中、USB-ACアダプターは若干熱を持ちますが、故障ではありません。

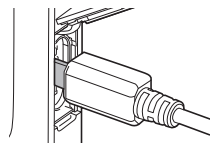
充電中に動作確認ランプが点灯または点滅しない場合は、USBケーブルの向きを確認してみてください。

- USBケーブル接続時は、ケーブルのコネクタをカチッとクリック感があるまでカメラへ押し込んでください。完全に挿入しないと、通信不良や製品の故障の原因となります。
- 完全に挿入しても、イラストのようにコネクタの金属部が見えます。

カメラ

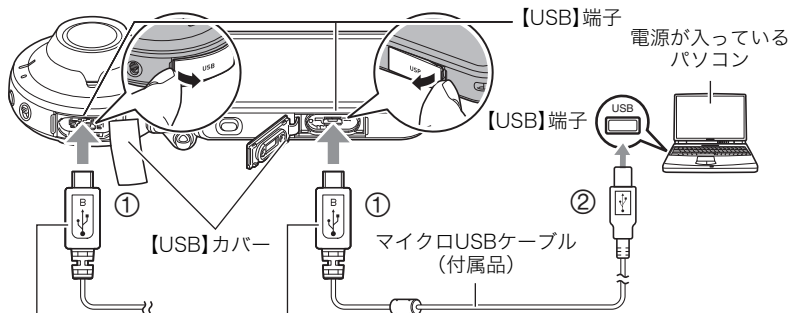


コントローラー



■ パソコンのUSB端子から充電する

カメラおよびコントローラーの電源が切れた状態で、①と②の接続をします。



小さいコネクタ(マイクロUSBコネクタ)の•←マークを以下の向きにして差し込みます。

カメラ: レンズ側

コントローラー: 液晶モニター側

- カメラまたはコントローラーの電源が入っているときは、パソコンに接続する前に【⏻】(電源)を約2秒間押し続けて電源を切ってください。

充電時間: カメラ: 約2時間55分

コントローラー: 約2時間55分

参考

- パソコンで充電中にカメラの電源を入れると、充電を継続したままパソコンとのUSB通信状態に移行します。コントローラーの電源を入れた場合は、充電を継続したまま電源が入ります。ただし、パソコンの種類や接続環境により給電能力が低い場合は、充電が停止します。

■ 動作確認ランプの動作

電源が切れた状態のとき

動作	内容
赤点灯	充電中
赤点滅	内部温度の異常／USB-ACアダプターの異常／電池の異常(107ページ)／タイマーによる充電終了
消灯	充電完了

電源を入れたとき

- カメラ

動作	内容
オレンジ点灯	充電中
赤と緑が素早く点滅	内部温度の異常／USB-ACアダプターの異常／電池の異常(107ページ)／タイマーによる充電終了
緑点灯	充電完了

- コントローラー

動作	内容
オレンジ点灯 (赤とオレンジがゆっくり点滅)	充電中
緑とオレンジが素早く点滅 (赤と緑が素早く点滅)	内部温度の異常／USB-ACアダプターの異常／電池の異常(107ページ)／タイマーによる充電終了
緑点灯(緑がゆっくり点滅)	充電完了

- ()内はスリープしたときの動作です。

重要

- 初めてカメラまたはコントローラーをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。
- 長期間電池を使わなかった場合や、パソコンの種類や接続環境によっては、充電時間がさらに延びる場合があります。また、動作確認ランプが赤く点滅することがあります。その場合は、113ページをご覧ください。
- より早く充電を完了するためには、付属のUSB-ACアダプターで充電することをおすすめします。
- パソコンが休止状態のときは充電できません。

その他充電についてのご注意

- 充電機は本書指定の方法で充電してください。
- 本機はUSB2.0準拠のUSB端子からのみ充電できます。
- USB充電に対応する機器や電源機器には、一定の規格があります。粗悪なもの、規格から外れるもののご使用は、機器の誤動作、故障の原因になることがあります。
- 自作のパソコンや改造したパソコンでの動作は保証できません。市販のパソコンでもUSBポートの仕様によっては、USBケーブルを接続しても充電されないことがあります。
- 使用直後の熱くなった電池は、十分に充電されない場合があります。電池が冷めるのを待ってから充電してください。
- 電池は使用しない場合でも、自己放電します。必ず充電してからご使用ください。
- 充電中、テレビやラジオに雑音が入ることがあります。その場合、テレビやラジオからできるだけ離れたコンセントをご使用ください。
- 充電時間は、電池の容量や残量、使用環境によって若干変化します。
- USB-ACアダプター(AD-C54UJ)は本機以外には使用しないでください。
- 充電は、本書で指定したUSB-ACアダプター、USBケーブルをご使用ください。指定以外のもので充電した場合は、正しく充電できないことがあります。

電池の残量を確認するには

電池が消耗すると、液晶モニターに表示される電池残量表示が下記のように変化します。

電池の残量		多い	←————→		少ない			
電池残量表示	カメラ		→		→		→	
	コントローラー		→		→		→	
残量表示の色		白	→	白	→	赤	→	赤

“”は電池残量が少ないことを表しています。早めに充電してください。

“”は間もなく電池残量が無くなることを表しています。すぐに充電してください。

- 撮影モードと再生モードを切り替えた場合、電池残量表示の状態が変わることがあります。
- 電池が消耗している状態でカメラを約8日放置すると、日時の設定がリセットされます。新たに電源を入れたとき、日付の設定をお知らせする画面が表示されますので、日付を設定してください(88ページ)。
- 電池寿命と撮影枚数に関しては120ページをご覧ください。

■ カメラとコントローラーの無線接続について

カメラとコントローラーはBluetooth無線技術で接続します。接続に必要なペアリングはあらかじめ行われているので、カメラとコントローラーの電源を入れるだけで自動的にBluetooth無線技術で接続します。カメラとコントローラーが離れすぎているときは、このBluetooth無線技術での接続は解除されます。Bluetooth無線技術での接続が解除されると、コントローラーは一定の時間経過後に電源が切れます。カメラは電源が入ったままになっているので、カメラのシャッターを押して撮影することはできません。



重要

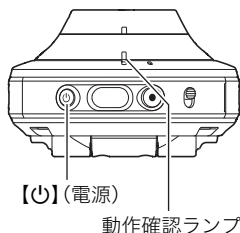
- 本機は、無線通信機能のBluetooth無線技術での接続機能を搭載しています。飛行機機内などの無線通信機能が制限されている場所では、カメラ単独動作も含めてご使用できません。

■ 電源を入れる

本機を使用するには、カメラとコントローラーの両方の電源を入れる必要があります。

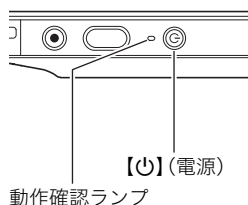
カメラ


【⏻】(電源)を押します。



コントローラー

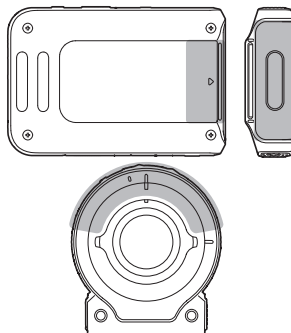
【⏻】(電源)を押します。



- 電源が入ると、カメラとコントローラーの動作確認ランプが緑色に点灯し、カメラとコントローラーのBluetooth無線技術での接続が自動で開始されます。コントローラーの画面に画像が表示され、撮影できる状態になります。
- カメラとコントローラーの向きや、距離によって通信状態が変わります。
- カメラとコントローラーが離れた状態で撮影する場合、コントローラーのシャッターを押して撮影できる範囲は約10mです。また、コントローラーのモニター画面に映像を表示できる範囲は約5mです。
- 通信状態が悪い場合は、コントローラーの動作確認ランプが緑色に点滅し、画面に「

22

- カメラとコントローラーの通信が安定した状態でお使いいただくため、以下の点に注意してください。
 - 右のイラストに指示している付近を覆わないようにする
 - コントローラーの後面をカメラに向ける
 - カメラとコントローラーの間に障害物を置かない



スリープモードについて

カメラとコントローラーがBluetooth無線技術で接続されているときにコントローラーの【⏻】(電源)を押す、または、セットアップメニューの“スリープ”(89ページ)で設定した時間コントローラーを操作しないと、表示が消えてカメラとコントローラーはスリープモードになります。スリープモード中は、動作確認ランプが緑色でゆっくり点滅します。スリープモード中にコントローラーのいずれかのボタンを押すと、表示が戻ります。スリープモードにしておくと、スリープモード中でもカメラとコントローラーはBluetooth無線技術で省電力のまま接続された状態になっているので、使用する際は素早く操作できます。

- スリープモード中も、カメラとコントローラーの距離が離れた場合や通信状態が悪くなると、接続が切れる可能性があります。

撮影モードと再生モードを切り替える

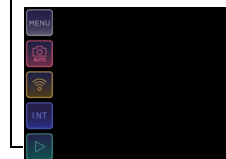
再生モードにする	<p>撮影モードのときに“⏮”(再生)をタッチする</p> <ul style="list-style-type: none"> “⏮”(再生)が表示されていない場合は、撮影レビュー(54ページ)をタッチするか、“□□□□”(呼び出し)をタッチして表示される“⏮”(再生)をタッチして、再生モードに切り替えることもできます。
撮影モードにする	再生モードのときに“□□□□”(呼び出し)をタッチして表示される“📷”(撮影)をタッチする

“□□□□”(呼び出し)



“□□□□”(呼び出し)をタッチした状態の画面

“⏮”(再生) / “📷”(撮影)



■ 電源を切る

カメラとコントローラー両方の【⏻】(電源)を約2秒間押し続けます。

- カメラの電源を切ると、コントローラーの電源も自動的に切れます。
- 電源オフ時には、カメラから終了音が鳴ります。カメラの電源は、処理終了後に切れます。

最初に電源を入れたら時計を合わせる

お買い上げ後、最初に電源を入れたときは時計を設定する画面が表示されます。時計を設定しないと、撮影した画像に正しい日時が記録されません。

1. カメラとコントローラーの電源を入れる(22ページ)





- 初めて電源を入れたときは、言語選択表示画面が表示されます。言語選択画面が表示されない場合は、カメラの電源が入っているか確認してください。

2. コントローラーの画面を上下にフリックまたは"をタッチして、使用したい言語を表示させてタッチする

3. 使用したい日付のスタイルをタッチする

例)2017年7月10日
年/月/日→17/7/10
日/月/年→10/7/17
月/日/年→7/10/17

4. 日付と時刻を合わせる

- 変更したい値(年、月、日、時、分)をタッチして、"で数字を合わせます。
- 12時間/24時間表示を切り替えるには、“am(pm)”/“24h”を選び、“”をタッチします。



時間表示切替

5. 日付/時刻合わせが終了したら、“OK”をタッチする

日付/時刻を間違っ設定した場合、上記の手順では直せません。88ページをご覧ください。
なり、設定し直してください。

参考

- 専用アプリEXILIM Connectに接続して、EXILIM Connectでカメラの日時を設定することにより、カメラのタイムゾーンをスマートフォンのタイムゾーンに合わせて切り替えることができます。詳しくは、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(65ページ)。

メモリーカードを準備する

撮影する画像を保存するため、市販のメモリーカードをご用意ください(本機にメモリーカードは付属していません)。本機はメモリーを内蔵しており、この内蔵メモリーだけでも数枚程度の静止画や短い動画の撮影はできます。メモリーカードを入れているときはメモリーカードに、入れていないときは内蔵メモリーに記録されます。

- 内蔵メモリーに保存した静止画や動画は、カメラ内でメモリーカードにコピーはできません。
- 保存できる枚数については118ページをご覧ください。

使用できるメモリーカード

- microSDメモリーカード
- microSDHCメモリーカード
- microSDXCメモリーカード



- 使用できるメモリーカードの種類は2017年1月現在のものであります。
- microSD規格に準拠したメモリーカードに対応しており、規格上の容量は、microSDメモリーカードが2GB以下、microSDHCメモリーカードが2GB超～32GB以下、microSDXCメモリーカードが32GB超～2TB以下となります。前記のメモリーカードであっても、容量をはじめ、すべてのカードで動作を保証するものではありません。

当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。具体的なメーカー名や対応容量などの詳細は、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイトの「デジタルカメラお客様サポートメニュー」(<http://casio.jp/support/dc/>)をご覧ください。別冊「クイックスタートガイド」に記載の「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

警告

- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

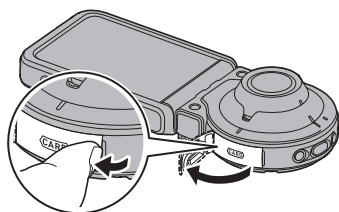


■ メモリーカードのご使用上の注意

メモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合があります。特に高品位の動画は正常に記録できない場合があります。また、使用するメモリーカードによっては、記録時間がかかるため、画像が一瞬途切れたり、音声が中断する場合があります。

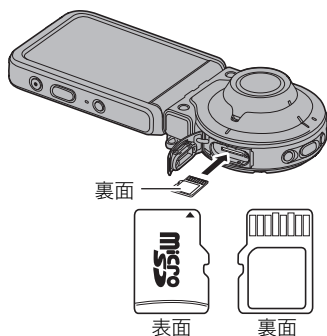
メモリーカードを入れる

1. カメラの【**⏻**】(電源)を約2秒間押し続けて電源を切り、カメラの【**CARD**】カバーを開ける

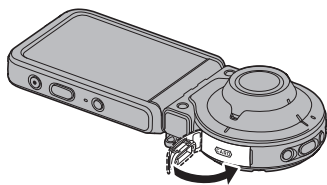


2. メモリーカードを入れる

メモリーカードの裏面をレンズ側にして、メモリーカード挿入口にカチッと音がするまで押し込みます。



3. 【**CARD**】カバーを閉じる

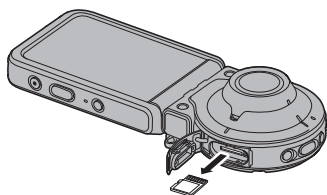


重要

- メモリーカード挿入口には指定のメモリーカード(25ページ)以外のは入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部に入り込んだ場合は、本機の電源を切って、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ メモリーカードを交換する

メモリーカードを押すとカードが少し出てきますので、引き抜いて別のメモリーカードを入れます。



★ 重要

- メモリーカードの交換は、カメラ本体の電源を切ってから行ってください。電源が入った状態で行くと、撮影された画像が記録されなかったり、メモリーカードを破壊する恐れがあります。

新しいメモリーカードをフォーマット(初期化)する

本機で初めて使用するメモリーカードはカメラでフォーマットしてください。

★ 重要

- すでに静止画などが保存されているメモリーカードをフォーマットすると、その内容がすべて消去されます。フォーマットは通常行う必要はありませんが、画像の記録速度が遅くなったなどの異常が見られる場合にフォーマットしてください。
- メモリーカードをフォーマットするときは必ずカメラでフォーマットしてください。パソコンでフォーマットするとSD規格非準拠となり、処理速度が著しく遅くなるなど、互換性や性能等で問題が生じる場合があります。

1. カメラにメモリーカードを入れる(26ページ)

2. カメラとコントローラーの電源を入れて、“□□□□”(呼び出し)をタッチする

3. “MENU”をタッチする

4. “⚙️ セットアップ”タブをタッチする

5. 画面を上下にフリックして“フォーマット”を表示し、タッチする





6. “フォーマット”をタッチし、“はい”をタッチする
メモリーカードのフォーマットが開始されます。

静止画を撮影する

本機には、目的に応じた撮影モード(34ページ)が複数搭載されており、撮影方法もさまざまです。ここでは、オート撮影モードを使用した一般的な撮影方法を説明します。

オート撮影モードを設定する

本機には2つのオート撮影モードがあり、目的に応じて切り替えることができます。

設定項目	撮影画面のアイコン表示	設定内容
 オート		一般的なオート撮影モードです。
 プレミアムオート PRO		被写体や撮影環境などをカメラが自動的に判断し、オートよりも高画質で撮影します。 <ul style="list-style-type: none">• 撮影に関する設定の変更は制限されます。• オートよりも、電池寿命はやや短くなります。• ハイライトフォトやハイライトムービーを作成するときは、こちらの撮影モードをおすすめします。

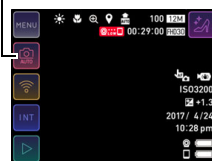
1. カメラとコントローラーの電源を入れる(22ページ)

カメラとコントローラーが撮影モードで起動します。

2. “□□□□”(呼び出し)をタッチする

3. 上から2番目(縦表示の場合は、右から2番目)のアイコン(撮影モード)をタッチする

撮影モードアイコン



4. “オート”または“プレミアムオート PRO”をタッチして、オート撮影モードを設定する



撮影する

1. カメラを被写体に向ける

プレミアムオート PROで撮影しようとする、カメラが検出した撮影環境のアイコンが画面に表示されます。

- 2本の指でタッチしながら広げると、ズーム画面に切り替わります(42ページ)。



+ (望遠)



- (広角)



撮影環境

2. カメラまたはコントローラーのシャッターを押す

露出やピントを自動的に合わせて、静止画が撮影されます。

- 静止画を撮影すると、動作確認ランプが赤色に一度点灯します。ただし、フォーカス方式が“マクロ”のときは赤色は点灯しません。

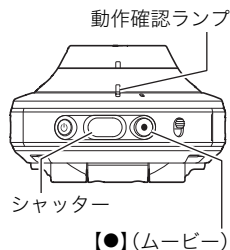
動画を撮影するには

カメラまたはコントローラーの【●】(ムービー)を押すと、動画の撮影が開始されます。

再度【●】(ムービー)を押すと、撮影を終了します。

詳しくは43ページをご覧ください。

カメラ



コントローラー



参考

- 画面をタッチした場所にピントを合わせて、静止画を撮影することもできます(47ページ)。
- 撮影する静止画の画像サイズを設定することができます。詳しくは49ページをご覧ください。
- 動画を撮影中は、動作確認ランプが赤色に点滅します。

■ カメラ単体で撮影する

コントローラーの電源が入っていないなど、カメラとコントローラーが接続していない状態でも、カメラ単体で撮影できます。

- インターバル撮影中(39ページ)、または動画撮影中(43ページ)にコントローラーの電源を切っても、撮影は継続します。

■ プレミアムオート PROで撮影するとき

- プレミアムオート PROでは使用できないメニューがあります(46ページ)。
- シャッター速度、ISO感度などに加えて、カメラが次の機能なども自動的に作動させて撮影します。
 - 画面をタッチするまで常にオートフォーカス動作を行い、ピントを合わせ続けます。
 - 画面の中でピントを合わせるべき場所をカメラが自動的に判断し、そこへピントを合わせます。
- プレミアムオート PROで撮影すると、“プレミアムオート高画質化の処理中です”と表示される場合があります。画像処理時間が気になる場合は、オートに切り替えて撮影することをおすすめします。
- プレミアムオート PROでは、撮影環境の検出が適切にできない場合があります。その場合は、オートに切り替えて撮影してください。
- “HS”が表示されたときは連写撮影によって1枚の画像が撮影されます。手ブレや被写体ブレに気をつけて、撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。

撮影した静止画を見る


撮影した静止画を液晶モニターで見ることができます。

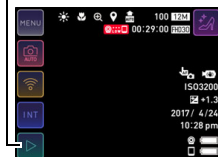
- 動画の再生方法については55ページをご覧ください。

1. “” (再生) をタッチして、再生モードにする

記録されている静止画の1つが液晶モニターに表示されます。

- 撮影レビュー (54ページ) をタッチして、再生モードに切り替えることもできます。
- 表示されている静止画についての情報も表示されます (9ページ)。
- 情報表示を消して、静止画だけを見ることもできます (87ページ)。
- 液晶モニターをタッチして、画像を拡大して表示できます (56ページ)。大切な写真を撮影したときは、撮影した画像を拡大表示して画像を確認することをおすすめします。

“” (再生)



2. 画像を左右にフリックして、前後の静止画に切り替える

参考

- 再生モード時やメニュー画面を表示している最中にコントローラーのシャッターを押すと、撮影モードに切り替わります。
- 再生できない画像には“?”が表示されることがあります。

撮影した静止画や動画を消去する

メモリー残量が足りなくなっても、撮影した静止画や動画を消去することによりメモリーの残り容量を確保して、また新しい写真撮影ができるようになります。

重要

- 消去したファイルは元に戻せません。

■ 1ファイルずつ消去する

1. 再生モードにする


2. “” (呼び出し) をタッチする

3. “” をタッチする



4. “1ファイル消去” をタッチする

5. 画面を左右にフリックして、消去したい画像を表示する



-
6. “” (消去) をタッチする
選んだ画像が消去されます。

■ すべてのファイルを消去する

1. 再生モードにする
2. “” (呼び出し) をタッチする
3. “” をタッチする
4. “全ファイル消去” をタッチする
5. “消去” をタッチする
すべてのファイルが消去され、“ファイルがありません” と表示されます。

静止画撮影時のご注意

操作について

- 不要な光がレンズに当たるときは、手でレンズを覆って撮影してください。

撮影時の画面について

- 被写体の明るさにより、液晶モニターの表示の反応が遅くなったり、ノイズが出たりすることがあります。
- 液晶モニターに表示される被写体の画像は、確認のための画像です。実際は、設定した撮影モード(34ページ)で撮影されます。

蛍光灯の部屋での撮影について

- 蛍光灯のごく微妙なちらつきにより、撮影画像の明るさや色合いが変わることがあります。

その他のご注意

- ISO感度を高い値に設定すると、ノイズ低減処理のために、撮影が終了するまでの時間が長くなります。その間は操作しないでください。
- CMOS撮像素子の原理上、撮影モードによっては、動きの速い被写体が歪むことがあります。

■ オートフォーカスの制限事項

- 次のような被写体に対しては、ピントが正確に合わないことがあります。
 - 階調のない壁など、コントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 明るく光っている被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 手ブレをしているとき
 - 動きの速い被写体
 - 撮影範囲外の被写体
- 一部の撮影モードではフォーカスロックが使用できます。ピントが合わない場合は、フォーカスロック(48ページ)で撮影してみてください。

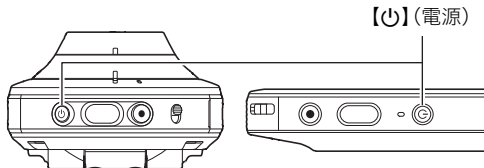
撮影する(応用)

本機では、液晶モニターをタッチして、撮影に関しての設定を変更することができます。

撮影項目を設定する

1. 【⏻】(電源)を押して電源を入れ、撮影モードにする

- 再生モードの場合は、【📷】(撮影)をタッチして、撮影モードに切り替えてください。

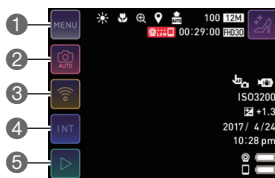


2. “□□□□□”(呼び出し)をタッチする

3. 設定したい項目をタッチする

- 1 メニュー(46ページ)※
- 2 撮影モード(34ページ)
- 3 無線モード(65ページ)
- 4 インターバル撮影モード(39ページ)
- 5 再生モード切替(23ページ)

※ 撮影モードによって使用できないメニュー項目があります。



撮影モードを設定する

本機には、目的に応じたさまざまな撮影モードがあります。






1. 撮影モードにして、“□□□□□”(呼び出し)をタッチする

2. 撮影モードアイコンをタッチする



3. 使用したい撮影モードのアイコンをタッチする

選んだ撮影モードに設定されます。

 オート	一般的なオート撮影モードです(28ページ)。
 プレミアムオート PRO	被写体や撮影環境などをカメラが自動的に判断し、オートよりも高画質で撮影します(28ページ)。
 高速連写	30枚、連続して撮影できます(35ページ)。
 アートショット	見慣れた被写体でも、普段と変わった印象的な写真に上げることができます(36ページ)。
 メイクアップアート	風景は彩度を強調したり、アート効果をかけます。また、人物にはメイクアップ効果をかけます(37ページ)。

何枚も連続して撮影する(高速連写)

連続して撮影できます。


1. 撮影モードにして、“□□□□”(呼び出し)をタッチする

2. 撮影モードアイコンをタッチする

3. “”(高速連写)をタッチする


4. 用途に合ったシーンをタッチする

シーン	内容
高速連写30fps	1秒間に30枚の速度で撮影されます。
高速連写PAST	1秒間に30枚の速度で、シャッターを押す前に15枚、押したあとに15枚撮影されます。

- 画面に表示される“”をタッチしてから高速連写のシーンをタッチすると、そのシーンの詳しい内容が表示されます。
- “高速連写30fps”を選んだ場合は、手順6に進んでください。
- “高速連写PAST”を選んだ場合は、手順5に進んでください。

5. “Pre REC”をタッチする

シャッターを押すまで、画像を一時的に記録します。

- 画像の一時的な記録をやめるには、“”をタッチしてください。

6. シャッターを押す

連続で30枚撮影されます。

いろいろな作風で撮影する(アートショット)

見慣れた被写体でも、普段と変わった印象的な写真に上げることができます。




シーン	内容
トイカメラ	周辺を暗くして、色合いを変えてトイカメラ風に仕上げます。
ソフトフォーカス	全体をぼかし、やわらかく幻想的に仕上げます。
ライトトーン	コントラストを弱めに、上品で落ち着いた雰囲気仕上げます。
セピア	セピアカラーにして、レトロ風に仕上げます。
モノクロ	コントラストを強調し、粒状感をつけ、印象的に仕上げます。

1. 撮影モードにして、“□□□□”(呼び出し)をタッチする

2. 撮影モードアイコンをタッチする

3. “ART”(アートショット)をタッチする

4. 用途に合ったシーンをタッチする

- 画面表示される“”または“”をタッチすると、他のシーンが表示されます。
- 画面に表示される“”をタッチしてからアートショットのシーンをタッチすると、そのシーンの詳しい内容が表示されます。

5. シャッターを押して撮影する

参考


- アートショットでの動画撮影では、アート効果はかかりません。
- シーンに使用されているサンプル画像は本機で撮影されたものではありません。
- アートショットのシーンで撮影した画像は、アート効果がない状態の画像に変換できません。

人物の顔と風景を美しく撮影する(メイクアップアート)

屋外での撮影に適したモードです。風景は彩度を強調したり、アート効果をかけます。また、人物にはメイクアップ効果をかけます。


1. 撮影モードにして、“□□□□”(呼び出し)をタッチする

2. 撮影モードアイコンをタッチする

3. “

4. 用途に合ったシーンをタッチする

シーン	内容
メイクアップHDR	人物にはメイクアップ効果をかけ、背景は HDR 合成を応用し印象的な作品に仕上げます。
メイクアップピピッド	人物にはメイクアップ効果をかけ、背景は彩度を強調し色彩豊かに仕上げます。

- 画面に表示される“

5. シャッターを押して撮影する

参考


- メイクアップアート撮影時は、人物の顔が検出されてから撮影することをおすすめします。
- 顔が検出できない場合は、人物にもアート効果が強くかかる場合があります。
- メイクアップアートでの動画撮影では、アート効果はかかりません。
- シーンに使用されているサンプル画像は本機で撮影されたものではありません。
- メイクアップアートのシーンで撮影した画像は、アート効果がない状態の画像に変換できません。
- メイクアップHDR撮影時は、液晶モニターの表示の反応が遅くなったり、ノイズが出たりすることがあります。

脚の長さを強調した全身写真を撮影する(美脚ガイド)

画面に表示されるガイドに合わせてポーズをとると、脚が長く見える全身写真が撮影できます。

1. 撮影モードにして、“” (美脚ガイド) をタッチする

2. 用途に合ったシーンをタッチする

- 画面に表示される“”をタッチしてから美脚ガイドのシーンをタッチすると、そのシーンの詳しい内容が表示されます。



3. カメラと被写体の距離を調整して、画面に表示されるガイドに顔や脚を合わせる

4. シャッターを押して撮影する

参考

- 美脚ガイド使用中は、ズームを使えません。デジタルズーム中に美脚ガイドを表示させると、等倍に戻ります。
- 動画撮影中は美脚ガイドを使用できません。

イベントなどの様子を定期的に撮影する(インターバル撮影)

指定した間隔ごとに、静止画や動画を自動で撮影できます。

シーン	撮影画面のアイコン表示	内容
スタンダード		一定の間隔で撮影を行います。
インテリジェント		最適な状況を判断して撮影を行います。
ハイキング		ハイキングに適した条件で撮影を行います。
サイクリング		サイクリングに適した条件で撮影を行います。
スノー&ウォーター		ウィンター&水上スポーツに適した条件で撮影を行います。
レジャー		レジャーや旅に適した条件で撮影を行います。

“😊”があるシーン(スタンダード以外)について


- “間隔”で設定したタイミングを目安に、カメラが状況を判断して撮影と記録を行います。そのため、設定した間隔から多少ずれて撮影されることがあります。
- 撮影間隔を5秒に設定できません。


■ インターバル撮影を開始する

1. 撮影モードにして、“□□□□”(呼び出し)をタッチする

2. インターバル撮影モードアイコンをタッチする

3. 用途に合ったシーンをタッチする




- “”をタッチすると、各シーンの詳しい内容が表示されます。画面を上下にフリックして使いたいシーンを表示させてから、アイコンをタッチしてください。

4. “”をタッチする

インターバル撮影
モードアイコン




5. 設定項目をタッチして、設定を変更する

間隔	撮影する間隔を以下から選びます。 5秒、15秒、30秒、1分、2分
撮影パターン	 : 静止画が5枚撮影されたあと、5秒間の動画が1回撮影されません。  のみ: 動画が5秒間撮影されます。音声も録音されます。  のみ: 静止画が撮影されます。 • “間隔”を“5秒”に設定した場合、動画の撮影時間は2秒間になります。

6. “◀”をタッチする



7. “開始”をタッチする

撮影が開始されます。


- インターバル撮影で撮影を開始すると、カメラとコントローラーはスリープモードになり、撮影待機状態になります。このとき、動作確認ランプが緑色に点滅します。ただし、撮影間隔が5秒のときは、カメラはスリープモードになりません。
- スリープモードのときに、コントローラーのいずれかのボタンを押すと、スリープモードから復帰します。さらに、画面のをタッチすると、撮影した枚数が画面に表示されます。なお、撮影は9999枚が上限となります。

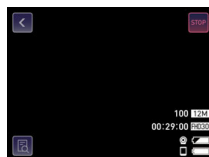


参考

- この機能で動画を撮影中は、カメラの設定に応じて手ブレを補正します。ただし、被写体ブレには効果がありません。
- この機能で撮影中はズーム操作を含む、撮影設定を変更できません。
- カメラの電池が切れた場合は、インターバル撮影は終了します。コントローラーの電池が切れた場合は、撮影は継続します。撮影を終了する場合は、カメラの【】(電源)を約2秒間押し続けてください。
- 手動で撮影しているときや、スリープモードから復帰しているときにインターバル撮影で撮影するタイミングになった場合は、そのタイミングでの撮影は行われず、次のタイミングで撮影されます。
- スリープモードから復帰しているときにコントローラーの【】(電源)を押すと、スリープモードに戻り、インターバル撮影が再開します。
- 設定項目の初期値は、シーンごとに異なります。
- 設定項目を変更した場合は、電源を切ってもその値が保持されます。初期値に戻りたい場合は、“リセット”(90ページ)でカメラをリセットしてください。
- 撮影環境によっては、撮影間隔が長くなることがあります。

■ インターバル撮影を終了する

1. コントローラーのいずれかのボタンを押してスリープモードから復帰させる
2. “”をタッチする
3. “はい”をタッチする
インターバル撮影が終了します。



■ インターバル撮影中に手動で撮影する

インターバル撮影中でも、自分が撮りたいタイミングで静止画や動画を撮影できます。

1. コントローラーのいずれかのボタンを押してスリープモードから復帰させる
2. コントローラーまたはカメラを操作して撮影する

参考

- スリープモードのときでも、カメラのシャッターまたは【●】(ムービー)を押して静止画や動画を撮影できます。
- インターバル撮影が終了すると、撮影モードはプレミアムオートPROに戻ります。
- 撮影レビュー(54ページ)を“タイプ1”に設定したときのみ、撮影した画像が表示されません。

ズーム撮影する

本機にはデジタルズームが搭載されていて、4倍まで拡大できます。なお、デジタルズームは画像中央をデジタル処理によって拡大するので、画質の劣化が起こります。

1. 画面を操作してズームの倍率を変える

望遠：“+”をタッチする、または2本の指でタッチしながら広げる

広角：“-”をタッチする、または2本の指でタッチしながら狭める



望遠



広角

望遠: 被写体が大きくなり、写る範囲が狭くなります。

広角: 被写体が小さくなり、写る範囲が広がります。

2. シャッターを押して撮影する




参考

- 望遠で撮影するときは、手ブレがおきやすくなるため、本機を平らなところに置くなどして、カメラを固定させて撮影することをおすすめします。
- インターバル撮影中は、ズームを使えません。
- 動画撮影中はズーム操作はできません。ズームを使いたいときは、撮影を開始する前にズーム操作をしてください。
- デジタルズーム中は、“⊕”が表示されます。

動画を撮影する

ここでは、動画の撮影方法を説明します。

1. 撮影モードにして、“□□□□”(呼び出し)をタッチする
2. “MENU”をタッチする
3. “▲”“▼”をタッチして“動画画質”を表示させ、タッチする
4. 設定したい画質をタッチする

動画画質	撮影画面のアイコン表示	撮影速度 (フレームレート)	画像サイズ (pixels)	説明
FHD (30p)		30fps	1920×1080	高精細な動画(フルハイビジョン動画)を撮影できます。アスペクト比は16:9で撮影されます。
STD		30fps	640×480	標準的な動画を撮影するときに選びます。アスペクト比が4:3で撮影されます。
HS240		240fps	512×384	ハイスピード動画を撮影できます。 ・ 音声は録音されません。

5. “◀”をタッチ、またはシャッターを押してメニュー画面を閉じる

6. 【●】(ムービー)を押す

撮影が開始されます。

- ・ 動画画質を“FHD(30p)”または“STD”に設定した場合、撮影中は音声(モノラル)も録音されます。
- ・ 動画画質を“FHD(30p)”または“STD”に設定した場合、撮影中にコントローラーの画面をタッチすると、タッチした位置にピントを合わせることができます。ただし、タッチ撮影(47ページ)の設定が“切”のときは、画面をタッチしてピントを合わせることができません。

撮影時間



7. 【●】(ムービー)を押して撮影を終了する

- ・ 撮影可能な動画は、1ファイル最長29分間、または1ファイルが最大4GBまでです。それを超えると自動的に撮影は終了します。また、撮影中にメモリーがいっぱいになると、撮影は途中で終了します。

プレミアムオート PROを利用した動画撮影

プレミアムオート PROに設定した状態(28ページ)で撮影すると、被写体や撮影環境などをカメラが自動的に判断し、オートよりも高画質で撮影することができます。

- FHD(30p)動画とSTD動画の撮影のみで有効です。
- オートでの動画撮影よりも電池寿命はやや短くなります。

動画撮影時の手ブレ補正

動画画質が“FHD(30p)”または“STD”のときに“動画手ブレ補正”(48ページ)を“標準”または“強”にすると、動画撮影時にブレ補正の機能が働きます。ただし、ブレ補正ができるのは手ブレだけで、被写体ブレには効果ありません。また、画角が狭くなります。動画手ブレ補正を“強”にすると、補正効果は強くなりますが、光源フリッカー(蛍光灯のちらつき)が横帯として写ります。

ハイスピード動画で撮影時のご注意

- ハイスピード動画撮影時は明るい環境で撮影してください。
- ハイスピード動画では光源フリッカー(ちらつき)が横帯として写ることがあります。

動画撮影時のフォーカス位置について

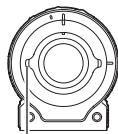
フォーカス方式が“AF”または“PF”のときは、被写界深度の深いパンフォーカス位置で記録してボケを抑えます。フォーカス設定が“マクロ”のときは、撮影開始前にピントを合わせて固定します。

また、動画撮影中は、画面をタッチするとその場所にピントを合わせることができます。ただし、以下のときは画面をタッチしてもピントを合わせることができません。

- タッチ撮影が“切”のとき
- フォーカス方式が“PF”のとき
- 動画画質が“HS240”のとき

重要

- 動画を長時間撮影した場合、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- FHD(30p)/STD動画では音声も同時に記録されますので、次の点に注意してください。
 - 指などでマイクをふさがないようにください。
 - 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。
- 高い気温など高温の環境で動画を長時間撮影した場合、撮影画像にノイズ(輝点)が入ることがあります。また、内部温度の上昇により動画撮影の途中で強制的に動画撮影が終了する場合があります。その場合は本機の温度が下がってから動画撮影するようにしてください。
- 内蔵メモリ使用時やメモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合があります。特に高品位の動画は正常に記録できない場合があります。また、使用するメモリーカードによっては、記録時間がかかるため、画像が一瞬途切れたり、音声が中断する場合があります。



マイク

参考

- 動画撮影中は、ズーム操作はできません。ズームを使いたいときは、【●】(ムービー)を押す前にズーム操作をしてください。
- 好きな位置にピントを合わせたい場合は、動画撮影をはじめる前にコントローラーの画面をタッチしてピントを合わせてから撮影してください。
- 動画撮影中は、メイクアップ機能を使用できません。

よりよい撮影のための設定

本機では、メニューを操作してさまざまな設定ができます。

撮影メニューを使う

■ メニュー画面の操作例

1. 撮影モードにして、“□□□□”(呼び出し)をタッチする

2. “MENU”をタッチする

メニュー画面が表示されます。

- メニューの内容は、撮影モードと再生モードで異なります。

3. 設定したい項目のタブをタッチする

4. 画面を上下にフリックして設定したい項目を表示させる

- “◀”をタッチまたはコントローラーのシャッターを押すと、メニュー操作を中断してメニューを消します。

5. 設定したい項目をタッチする

6. 画面の表示に従って内容を設定する

- “◀”をタッチすると、1つ前の階層に戻ります。

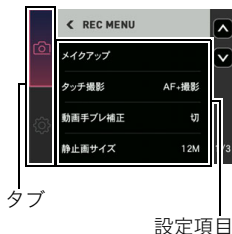
参考

- 撮影モードによっては、使用できないメニューがあります。その場合は、項目をタッチしても反応しません。

■ メニュー操作の本書記載について

本書ではメニュー操作の手順を下記のように記載します。記載の順に画面をタッチしてください。

操作手順： 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → タッチ撮影



人物の顔を美しく撮影する(メイクアップ)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ →
メイクアップ

メイクアップを使って、肌の色味や肌質を調整して、人物の顔を美しく撮影することができます。

肌の色	肌の色味を褐色+6~0(切)~美白+6で調整します。
肌のなめらかさ	肌質を0(切)~+12(強)で調整できます。

参考

- 以下の撮影モードでは、メイクアップ機能を使用できません。
高速連写、アートショット

好きな位置にピントを合わせて撮影する(タッチ撮影)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ →
タッチ撮影

画面をタッチした位置にピントを合わせて、撮影することができます。

AF+撮影	タッチした位置にピントを合わせたあと、撮影します。
AFのみ	タッチした位置にピントを合わせます(フォーカスロック)。
切	タッチ撮影を行いません。

参考

- タッチ撮影機能を使ってピントを合わせる場合は、フォーカス方式(52ページ)を“AF”または“マクロ”に設定してください。
- “AFのみ”に設定したとき、フォーカスフレームが赤のままの場合は、ピントが合いません(被写体との距離が近すぎるときなど)。その場合は、もう一度カメラを被写体に向けて、ピントを合わせてください。
- カメラが以下の設定のときは、タッチ撮影を使用できません。
 - 撮影モードが高速連写の“高速連写PAST”のとき

フォーカスロックについて

特定の被写体にフォーカスを合わせて撮影したい場合は、フォーカスロックを使います。フォーカスロックを行う場合は、カメラを以下の設定にしてください。

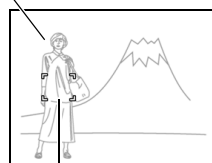
タッチ撮影: AFのみ

フォーカス方式: AFまたはマクロ

1. ピントを合わせたい被写体をタッチする

2. シャッターを押す

ピントを合わせたい被写体



フォーカスフレーム

参考

- フォーカスロックと同時に露出(AE)とホワイトバランスもロックされます。
- 再度画面をタッチする、またはロックしたまま約5分間経過すると、フォーカスロックが解除されます。

動画撮影時の手ブレを軽減する(動画手ブレ補正)

操作手順: 撮影モードにする → MENU → REC MENUタブ → 動画手ブレ補正

(標準) または (強) にすると、動画撮影時の手ブレを軽減できます。ただし、被写体ブレには効果がありません。また、画角が狭くなります。



参考

- ハイスピード動画撮影時は動画手ブレ補正機能は動作しません。

静止画サイズを変更する(静止画サイズ)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → 静止画サイズ

撮影する静止画の画像サイズを設定できます。

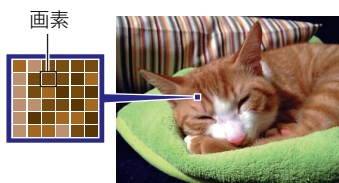
画素数(pixels)	撮影画面のアイコン表示	プリント時の用紙サイズの目安や用途	特徴
12M (4000×3000)		ポスター プリント	精細な画像が得られ、パソコンなどでトリミングしても画像が粗くならないです。
5M (2560×1920)		A4プリント	精細な画像が得られます。

- お買い上げいただいたときは、12M(1200万画素・pixels)で撮影するように設定されています。
- プリント用紙のサイズは、あくまでも参考のサイズとお考えください(印刷解像度が200dpiの場合)。

■ 画素数と画像サイズについて

デジタルカメラの画像は、小さな点(画素・pixels)の集まりでできています。

画素数は、数が多いほど精細な写真が撮れますが、サービスサイズ(L版)へのプリント、Eメールに添付して送る、パソコンの画面で見る、などの用途では画素数が少なくても良い場合があります。その画像がいくつの画素でできているかを示すものが画像サイズで、横×縦の画素数で表します。



- 画像サイズが大きいほど画素数が多くなり、メモリーに保存できる枚数が少なくなります。
- 画像サイズ、画質と保存できる枚数→118ページ
- 動画の画像サイズについて→118ページ

動画の画質を設定する(動画画質)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → 動画画質

動画の画質と撮影方法を設定することができます。詳しくは43ページをご覧ください。

明るさを補正する(明るさ)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → 明るさ

撮影時の明るさに応じて、露出値(EV値)を手動で補正することができます。次に露出補正を変えるまで、設定した露出補正值で撮影できます。

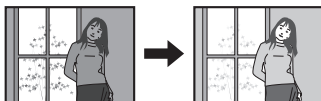
- 露出補正值: -2.0EV~+2.0EV
- 補正単位: 1/3EV

- 露出補正值を元に戻したいときは、“0.0”に設定してください。

－方向に補正。黒い物の撮影や晴天の野外などの撮影に向きます。



＋方向に補正。白い物の撮影や逆光での撮影に向きます。



参考

- 明るすぎたり、暗すぎたりするときは、露出補正ができない場合があります。











色合いを調整する(ホワイトバランス)



操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → ホワイトバランス

曇りの日に写真を撮ると被写体が青っぽく写る、または白色蛍光灯の光で撮ると被写体が緑がかって写るなどの現象を防ぎ、光源に合わせて被写体を自然な色合いで撮影できるように調整します。

1. 設定したい撮影条件をタッチする

タッチした撮影条件を、液晶モニターで確認できます。

設定項目	設定内容
 オートWB	自動的にホワイトバランスを調整
 太陽光	晴天時の野外での撮影用
 曇天	薄雲～雨天の野外や木陰などの撮影用
 日陰	晴天時のビルや木陰などの撮影用
 昼白色	白色・昼白色蛍光灯下での色かぶりを抑えた撮影用
 昼光色	昼光色蛍光灯下での色かぶりを抑えた撮影用
 電球	電球の雰囲気や消した撮影用
 マニュアルWB	さまざまな光源下で適正な色に手動で調整することができます。 ①  マニュアルWB”をタッチする ② 撮影場所で画面全体に白い紙を写す ③ アイコンが表示されていない部分をタッチする  設定したホワイトバランスは電源を切っても保持されます。

- “ オートWB”では、被写体の中から白色点を自動的に判断します。被写体の色や光源の状況によってはカメラが白色点の判断に迷い、適切なホワイトバランスに調整されないことがあります。この場合は、太陽光、曇天などの撮影条件を指定してください。
- プレミアムオート PROでは、“ オートWB”に固定されます。

ISO感度を変える (ISO感度)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → ISO感度

ISO感度とは、光に対する感度を表したものです。

設定項目	設定内容		
オート	撮影条件により自動調整します。		
ISO 64	感度が低い ↓ ↑ 感度高い	シャッター速度が遅い ↓ ↑ シャッター速度が速い (暗い場所での撮影向き)	なめらかに撮れる (ノイズが減る) ↓ ↑ 多少ざらつく (ノイズが増える)
ISO 100			
ISO 200			
ISO 400			
ISO 800			
ISO 1600			
ISO 3200			

- ISO感度を高い値に設定すると、ノイズ低減処理のために、撮影が終了するまでの時間が長くなります。その間は操作しないでください。
- プレミアムオート PROでは、“オート”に固定されます。

ピントの合わせ方を変える (フォーカス方式)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → フォーカス方式

フォーカス方式を変えると、より確実にピントを合わせることができます。

設定項目	撮影画面のアイコン表示	用途	ピントの合わせかた		ピントが合う距離※1	
			静止画	動画	静止画	動画
AF(オートフォーカス)	なし	一般的な撮影	自動	固定焦点	約10cm～∞(無限遠)	約46cm～∞(無限遠)
マクロ		近くのを撮影		自動	約3cm～約10cm※3	約3cm～約10cm※2,3
PF(パンフォーカス)		比較的広い範囲にピントが合うように撮影	固定焦点	固定焦点	約55cm～∞(無限遠)	約46cm～∞(無限遠)

※1 ピントが合う距離はレンズ表面からの距離です。

※2 動画撮影開始時にピントを合わせて固定します。

※3 ピントを合わせるのに時間がかかります。

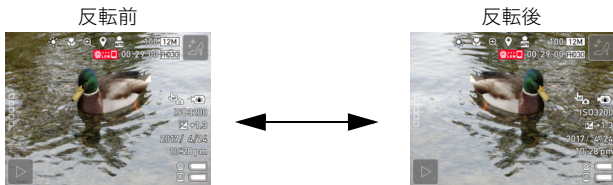
参考

- プレミアムオート PROでは、“AF”(オートフォーカス)に固定されます。

自分撮りをする(鏡面反転)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → 鏡面反転


“入”にすると、コントローラーに表示される映像が左右反転します。コントローラーで構図を確認しながら自分撮りをするときに便利です。なお、記録される画像は鏡面反転しません。



参考

- 左右にフリックして画像を反転することもできます。

動画撮影時の風の音を低減する(風音低減)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → 風音低減

動画撮影時に録音される風の音を低減したいときは“入”にしてください。ただし、音質が多少変化します。

撮影直後の画像を表示する(撮影レビュー)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → 撮影レビュー

撮影直後の画像が表示されます。

タイプ1	撮影した画像が、液晶モニターの全面に約1秒間表示されます。
タイプ2	撮影した画像が、コントローラーを横向きにしたときは液晶モニターの左下、縦向きにしたときは左上に表示されます。撮影した画像をタッチすると、再生モードに切り替わり、撮影した画像が全面に表示されます。
切	撮影した画像は表示されません。

参考

- 撮影モードが“高速連写”のときは、“タイプ1”を選んでも、“タイプ2”で撮影レビューが表示されます。

静止画や動画を再生する

撮影した静止画を見る

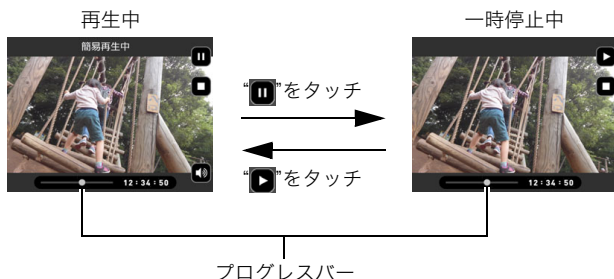
操作方法については31ページを参照してください。

撮影した動画を見る

1. “◀” (再生) をタッチして、再生モードにする
2. 画面を左右にフリックして、再生したい動画 (ムービー) を表示させる



3. “▶” (動画再生) をタッチして、再生を始める
 - 画面をタッチすると、全画面表示に切り替えることができます。




参考



- このカメラで撮影した動画以外は、再生できない場合があります。
- 動画を本機で再生すると、カメラのスピーカーから音声が再生されます。再生される音声と映像に差が生じますが、記録された動画ファイル自体には問題はありません。また、映像については、低フレームレートで簡易再生されます。動画を鑑賞する場合は、動画をスマートフォンに送信してご覧いただくことをおすすめします。

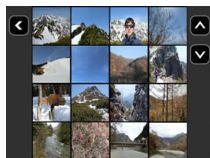
画像を一覧表示する

複数の画像を一度に表示できます。

1. 再生モードにして、“”をタッチする、または2本の指でタッチしながら狭める

画像が一覧表示されます。

- “”“”をタッチ、または画面を上下にフリックすると、前後の画像を表示します。
- 通常表示(1枚表示)で見たいときは、見たい画像をタッチしてください。
- 動画は先頭の画像が表示されます。
- 連写画像やインターバル撮影した画像は、撮影ごとにまとめて表示されます。
- 再生できない画像には“?”が表示されることがあります。




画像を拡大して表示する

静止画を4倍まで拡大して表示できます。

1. 再生モードにして、画面を左右にフリックして再生したい画像を表示させる

2. 画面中央をタッチ、または2本の指でタッチしながら指を広げる(16ページ)

画像が拡大表示されます。


- 画面をフリックして、拡大表示される位置を変えることができます。
- “”をタッチする、または2本の指でタッチしながら指を狭めると、縮小表示されず(16ページ)。


1日のできごとを動画にする(ハイライトムービー)


おすすめの静止画や動画が自動で複数選択され、1つのムービー(動画)に編集できます。画像は、“ハイライトスコア”機能で付けた点数や撮影時の情報などをもとに自動的に選ばれます。

- ハイライトスコアの点数は、“ハイライトスコア”機能(59ページ)で変更できます。
- 撮影時の情報やハイライトスコアの点数によって、画像の再生時間や効果が決まります。

1. 再生モードにして、“” (呼び出し)をタッチする

2. “” (編集)アイコンをタッチする

3. “” (ハイライトムービー)アイコンをタッチする

- “”をタッチすると、編集機能の詳しい内容が表示されます。その場合は、画面を上下にフリックして“ハイライトムービー”を選び、アイコンをタッチしてください。

4. ハイライトムービーに変換する画像の選択方法を選びます。

日付選択	選んだ日に撮影した画像から選ばれます。
インターバル選択	インターバル撮影(39ページ)した画像から選ばれます。

5. “

6. 項目をタッチして設定を変更する

最大再生時間	作成される動画の再生時間を選びます。
音楽	BGMを選びます。

7. 設定が完了したら、“8. “9. “はい”をタッチする

動画が作成・表示されます。

- ・ ハイライトムービーを作成中に“キャンセル”をタッチすると、ハイライトムービーの作成が中止します。作成を中止した場合は、動画は保存されません。

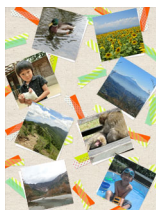
参考

- ・ “ハイライトスコア”機能(59ページ)で“0”に設定した画像は使用されません。
- ・ 作成される動画の画質はFHD(30p)、アスペクト比は16:9になります。加工前の画像のアスペクト比が16:9以外の場合は、画像の上下が自動でカットされます。
- ・ 縦向きの画像の場合は、画像の左右に黒い帯が付きます。
- ・ 同じ撮影日の静止画と動画の合計が10000ファイル以上ある場合、ハイライトムービーに使用される静止画と動画は、1～9999番目のファイルから選ばれます。
- ・ 作成時の条件によって、ハイライトムービーの作成に時間がかかる場合があります。
- ・ ハイライトムービーに使用される動画は、画質がFHD(30p)で、本機、EX-FR100またはEX-FR10で撮影された画像のみです。本機で撮影した場合でも、動画画質が“HS240”または“STD”の動画は、ハイライトムービーには使用されません。

1日のできごとを1枚の画像にする(ハイライトフォト)


おすすめの静止画が自動で複数選択され、1枚の静止画に合成できます。静止画は、“ハイライトスコア”機能で付けた点数や撮影時の情報などをもとに自動的に選ばれます。


- ハイライトスコアの点数は、“ハイライトスコア”機能(59ページ)で変更できます。



1. 再生モードにして、“□□□□”(呼び出し)をタッチする



2. “HL”(編集)アイコンをタッチする



3. “”をタッチする

- “”をタッチすると、編集機能の詳しい内容が表示されます。その場合は、画面を上下にフリックして“ハイライトフォト”を表示させてから、アイコンをタッチしてください。

4. ハイライトフォトに変換する画像の選択方法を選びます。


日付選択	選んだ日に撮影した画像から選ばれます。
インターバル選択	インターバル撮影(39ページ)した画像から選ばれます。

5. “”“”で使用したい画像の撮影日またはインターバル撮影を表示してタッチする

6. “”“”で使用したいレイアウトを表示してタッチする

7. “決定”をタッチする

画像が表示・保存されます。

- ハイライトフォトを作成中に“キャンセル”をタッチすると、ハイライトフォトの作成が中止します。
- 画像が保存されたあとに表示される画面には、“”(シャッフル)アイコンが表示されます。このアイコンをタッチすると、違う静止画でハイライトフォトが作成されます。このとき先に作成したハイライトフォトは消去されます。




8. “”をタッチして終了する

参考

- “ハイライトスコア”機能(59ページ)で“0”に設定した画像は使用されません。
- メモリーカードに、同じ撮影日の静止画が10000枚以上保存されている場合、ハイライトフォトに使用される静止画は、1~9999番目から選ばれます。
- 電池残量が少ない場合は、ハイライトフォトを作成できない場合があります。

画像を評価する(ハイライトスコア)

以下の手順で画像のハイライトスコアの点数を変更できます。

ハイライトスコア	内容
	初期値です。 この点数の画像は、ハイライトフォトやハイライトムービーに使用される可能性があります。
	この点数の画像は優先的にハイライトフォトやハイライトムービーに使用されます。
	この点数の画像は、ハイライトフォトやハイライトムービーに使用されません。

1. 再生モードにして、“□□□□”(呼び出し)をタッチする

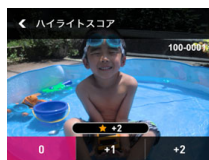
2. “HL”(編集)アイコンをタッチする

3. “★”(ハイライトスコア)アイコンをタッチする

4. 画面を上下にフリックして、ハイライトスコアを変更したい画像を表示してからタッチする

5. 選んだ画像に付けたい点数をタッチする

- 画面を左右にフリックすると、前後の画像に切り替わり、その画像の点数も変更できます。



6. 画像を評価したら、“◀”をタッチしてメイン画面まで戻る

参考

- ハイライトスコア機能は、本機で撮影した静止画と動画にのみ使用できます。
- プロテクトがかかっている画像のハイライトスコアを変更することはできません。

タイムラプス動画を作成する(タイムラプス)

静止画を撮影した順につなぎ合わせて、最長で10分間のタイムラプス動画を作成します。

1. 再生モードにして、“□□□□”(呼び出し)をタッチする

2. “HL”(編集)アイコンをタッチする

3. “TL”(タイムラプス)アイコンをタッチする

- “TL”をタッチすると、編集機能の詳しい内容が表示されます。画面を上下にフリックして“タイムラプスムービー”を表示させてから、アイコンをタッチしてください。

4. タイムラプス動画に変換する画像の選択方法を選びます。

日付選択	撮影日ごとにタイムラプス動画にします。
インターバル選択	インターバル撮影(39ページ)した画像ごとにタイムラプス動画にします。

5. “⚙️”をタッチする

6. 項目をタッチして設定を変更する

再生速度	画像1枚あたりの再生時間を選びます。“低速”にすると、1枚あたりの再生時間が長くなり、“高速”にすると、1枚あたりの再生時間が短くなります。
音楽	BGMを選びます。

7. 設定が完了したら、“◀️”(戻る)をタッチして手順5の画面に戻る

8. “▲”“▼”でタイムラプス動画にしたい画像の撮影日またはインターバル撮影を表示してタッチする

9. “はい”をタッチする

タイムラプス動画が作成・表示されます。

- タイムラプス動画を作成中に“キャンセル”をタッチすると、タイムラプス動画の作成が中止されます。

- 作成される動画の画質はFHD(30p)、アスペクト比は16:9になります。加工前の画像のアスペクト比が16:9以外の場合は、画像の上下が自動でカットされます。
- 縦向きの画像の場合は、画像の左右に黒い帯が付きます。
- 画像の枚数が多い場合は、タイムラプス動画が10分になったところでこの機能が終了し、それ以降の画像はタイムラプス動画に変換されません。
- ハイライトフォトは、タイムラプス動画に含まれません。
- 作成時の条件によって、タイムラプス動画の作成に時間がかかる場合があります。

再生時のその他の機能(再生機能)

ここでは再生モードで操作や設定ができるメニュー項目について説明します。

再生メニューを使う

■ メニュー画面の操作例

1. 再生モードにして、“□□□□”(呼び出し)をタッチする
2. “MENU”をタッチする
メニュー画面が表示されます。
 - メニューの内容は、撮影モードと再生モードで異なります。
3. 設定したい項目のタブをタッチする
4. 設定したい項目をタッチする
5. 画面の表示に従って内容を設定する
 - “◀”をタッチすると、1つ前の階層に戻ります。



■ メニュー操作の本書記載について

本書ではメニュー操作の手順を下記のように記載します。記載の順にアイコンをタッチしてください。

操作手順: 再生モードにする → MENU → 回転表示

画像を回転させる(回転表示)

操作手順: 再生モードにする → MENU → 回転表示

1. 画面を左右にフリックして、回転したい画像を表示させる
2. “”をタッチする
“”をタッチすることにより、90° 左回りに回転します。
3. 希望の表示状態になったら“◀”をタッチする

参考

- 画像データそのものが回転するわけではありません。液晶モニターでの表示のしかたを変えているだけです。

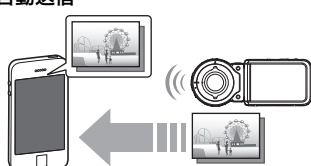

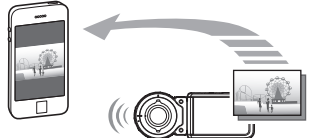
カメラとスマートフォンを接続する(無線接続)


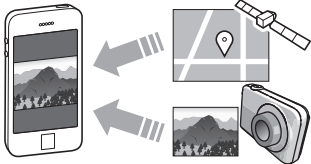
スマートフォンでできること

本機はBluetooth無線技術での接続機能と無線LAN接続機能の2つを搭載しています。本機とスマートフォンを無線で接続すると、次のことができます。操作には、スマートフォンに専用アプリEXILIM Connectをインストールする必要があります。

- 本機とBluetooth low energy 技術対応のスマートフォンをBluetooth無線技術で接続することができます。なお、カメラとスマートフォンを接続するBluetooth無線技術は、カメラとコントローラーを接続するBluetooth無線技術とは異なる技術となります。



できること	内容
自動送信 	Bluetooth無線技術でペアリング済みのスマートフォンに、撮影画像を自動で送信できます(73ページ)。
スマートフォンで撮影 	スマートフォンを使用して、離れたところからカメラを操作して撮影できます(70ページ)。
スマートフォンへ送る 	カメラで撮影した静止画や動画を選んで、スマートフォンに送信できます。また、画像送信後にスマートフォンからSNSに送ることもできます(71ページ)。

できること	内容
<p>スマートフォンから見る</p> 	<p>カメラに保存されている静止画をスマートフォンで見たり、静止画や動画をスマートフォンにコピーして見ることができます。また、パソコンでもカメラに保存されている静止画や動画を見たり、コピーすることができます(72ページ)。</p>
<p>位置情報を付け加える</p> 	<p>スマートフォンに送信した静止画に、撮影した場所の位置情報(緯度・経度)を付け加えることができます(75ページ)。</p>

本製品には電波法に基づく工事設計認証(認証番号:007-AC0201)を受けた特定無線設備を内蔵しています。

重要

- 航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、本機を使用しないでください。
- スマートフォンの機種によっては、受け取った動画をスマートフォンで再生できないことがあります。
- カメラがスマートフォンと接続中の場合は、カメラ本体のシャッターや【●】(ムービー)を押しても撮影できません。
- スマートフォン、OSのバージョン、ストレージの空き状況によって、動画や静止画がスマートフォンに保存されないことがあります。スマートフォンで画像を受信したあとは、スマートフォンで保存されていることを確認してください。
- カメラ内に保存された静止画に、位置情報は付け加えられません。
- Android™端末で受け取った動画について
 - “ギャラリー”アプリには動画は表示されません。動画はEXILIM Connectフォルダーに保存されます。
 - 再生には、動画(拡張子がMOVの動画ファイル)が再生できる動画プレーヤーが別途必要です。
 - お使いの動画プレーヤーによっては、動画が再生できなかったり、音声がでないことがあります。
- 他社のカメラで撮影した画像は、送信できません。

参考

- 無線機能を使用すると、通常よりも消費電力が大きくなります。電池が十分に残っている状態で使用してください。
- 操作可能範囲は、通信環境や接続するスマートフォンの機種によって変わります。

■ EXILIM Connectについて

専用アプリEXILIM Connectの詳しい情報については、EXILIM Connectの取扱説明書(下記のWebサイトからダウンロードすることができます)を参照ください。

<http://www.exilim.com/manual/>

- EXILIM Connectの取扱説明書をダウンロードする場合は、最初に言語(Japanese/日本語)を選択してください。
- EXILIM Connectの取扱説明書(PDF版)を見るためにはAdobe Reader をインストールする必要があります。取扱説明書を見ることができない場合は、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

無線モードについて


本機にはさまざまな無線モードがあります。必要に応じて選んでください。

1. “□□□□”(呼び出し)をタッチする

2. 無線モードアイコン“ 無線モード画面が表示されます。

3. 使用したい無線モードをタッチする

- 無線モードを終了するには、“<”をタッチします。

“

スマートフォンへ送る

カメラで撮影した画像をスマートフォンで見るときに選びます(71、72ページ)。

ペアリング

本機とスマートフォンをBluetooth無線技術で接続するときを選びます(67ページ)。

スマートフォンで撮影

スマートフォンでリモート撮影するときを選びます(70ページ)。

無線設定

無線接続の設定をするときを選びます(73ページ)。

スマートフォンをカメラに接続するための準備

スマートフォンに専用アプリEXILIM Connectをインストールすると、スマートフォンをカメラのリモコンとして使ったり、撮影した画像をスマートフォンに転送できます。専用アプリEXILIM Connectは、Google Play™またはApp StoreでEXILIM Connectを検索して、スマートフォンにインストールしてください。

専用アプリEXILIM Connectが対応しているOS (AndroidまたはiOS)のバージョンは、Google PlayおよびApp Storeのダウンロードサイト、またはカシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト (<http://casio.jp/dc/>) で確認してください。

■ アプリの動作保証について

EXILIM Connect(アプリ)は、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。

重要

- アプリの機能および動作環境は、予告なしで変更される場合があります。

スマートフォンにEXILIM Connectをインストールする

■ Android端末の場合

1. “Playストア”(Google Play)を開く

2. 検索フィールドに“EXILIM Connect”と入力する

3. “EXILIM Connect”をインストールする

■ iPhone(iOS)の場合

1. “App Store”を開く

2. 検索フィールドに“EXILIM Connect”と入力する

3. “EXILIM Connect”をインストールする

最初に無線接続設定をする

初めてスマートフォンをカメラに無線で接続するときは、無線接続設定が必要になります。この操作は初回のみ必要になります。

■ Bluetooth low energy 技術対応のスマートフォンの場合

本機とスマートフォンをBluetooth無線技術で接続すること（ペアリング）により、簡単に無線接続設定を行うことができます。

重要

- この操作を行うと、スマートフォンの無線LANの接続設定（69ページ）は自動的に行われます。
- ペアリングは、1台のスマートフォンとしかできません。
- スマートフォンの機種によっては、動作しない場合があります。
- すでにペアリングしている状態で再度ペアリングをすると、一度ペアリングを解除してから、ペアリングし直します。このとき未送信の画像は送信されなくなります。



カメラ（コントローラー）の操作

1. 無線モードアイコンをタッチする

無線モード画面が表示されます。

2. “ペアリング”をタッチする

3. “開始”をタッチする

- コントローラーを使わずにカメラを操作してペアリングを開始することもできます。
 - ①カメラの【】（電源）を約2秒間押し続けて電源を切る
 - ②カメラの【】（電源）を約6秒間押し続ける
カメラの動作確認ランプがオレンジ色に点滅します。

スマートフォンの操作

4. “EXILIM Connect”を起動する

5. “カメラとペアリングする”をタップする

6. スマートフォンでペアリングしたいカメラの名前をタップする

- カメラとスマートフォンのペアリングが完了し、Bluetooth無線技術で接続されます。
- Android端末の場合は、無線LANの接続設定も自動で行われます。手順10に進んでください。手順10の状態にならないときは、スマートフォンのWi-Fi設定でカメラのSSIDを選び、カメラとスマートフォンを無線LANで接続してください。
 - iPhone（iOS）の場合は、引き続き無線LANの接続設定（プロファイルのインストール）を行います。手順7に進んでください。

7. スマートフォンで“インストール”をタップする

スマートフォンの指示に従って無線LAN接続に必要なプロファイルをインストールしてください。

- スマートフォンのパスコードを入力する画面が表示されることがあります。その場合は、スマートフォンのパスコードを入力してください。

8. プロファイルのインストールが完了したら、スマートフォンで“完了”をタップする

9. スマートフォンの画面に表示された“アプリに戻る”をタップする

カメラとスマートフォンが無線LANで接続されます。

- iPhone(iOS)を使用している場合で、カメラとスマートフォンが無線LANで接続されないときは、スマートフォンのWi-Fi設定でカメラのSSIDを選び、カメラとスマートフォンを無線LANで接続してください。

10. スマートフォンで“OK”をタップする


11. スマートフォンの指示に従って、ペアリング操作を完了する

参考

- カメラとスマートフォンの無線接続設定が完了すると、“自動送信”(73ページ)が“入”になります。
- 本機の電源を切ると、Bluetooth無線技術による接続が終了します。

■ Bluetooth low energy 技術非対応のスマートフォンの場合

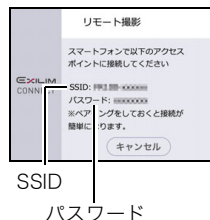
スマートフォンの無線LANの接続設定(カメラのSSIDとパスワードの入力)を行います。

1. 無線モードアイコンをタッチする

2. “スマートフォンで撮影”をタッチする

3. “開始”をタッチする

スマートフォンから接続できる状態になり、SSIDとパスワードが表示され、カメラの無線LAN接続確認ランプが青色に点滅します。






4. スマートフォンのWi-Fi設定でカメラのSSIDとパスワードを入力して、カメラとスマートフォンを無線LANで接続する

スマートフォンがカメラに無線LANで接続された状態になると、カメラの無線LAN接続確認ランプが青色に点灯し、コントローラーの液晶モニターに“スマートフォンのアプリを起動してください”というメッセージが表示されます。

- 無線LANで接続するための設定方法は、スマートフォンによって異なります。無線LAN(Wi-Fi)の接続方法については、スマートフォンの取扱説明書でご確認ください。
- カメラのSSID(変更不可)とパスワード(初期値)は以下のとおりです。
SSID:FR100L-XXXXXX(6桁の英数字)
パスワード:00000000

5. スマートフォンで“EXILIM Connect”を起動する

参考

- 以下の手順でカメラとスマートフォンを無線LANで接続することもできます。
 - ①カメラの【】(電源)を約2秒間押し続けて電源を切る
 - ②カメラの【】(ムービー)を押したまま【】(電源)を約1秒間押し続ける
カメラの無線LAN接続確認ランプが青色に点滅します。
 - ③スマートフォンで、カメラのSSIDを選ぶ

■ スマートフォンとカメラが無線LANで接続できないときは

すでに下記の無線LANと接続している可能性があります。スマートフォンのWi-Fi設定で、カメラのSSIDを選んでください。

- 家庭内の無線LAN
- 公衆無線LAN
- 携帯型無線LAN機器

スマートフォンをカメラのリモコンとして使う (スマートフォンで撮影)




スマートフォンを使用して、離れたところからカメラを操作して撮影(リモート撮影)ができます。スマートフォンからは、静止画や動画の撮影だけでなく、ズームなどの操作もできます。

参考

- スマートフォンを使用してカメラで撮影(リモート撮影)すると、静止画にスマートフォンにより取得した位置情報を付け加えることができます。詳しい使用方法については、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(65ページ)。

Bluetooth無線技術で接続中の場合

1. 以下のどちらかの状態にする

- スリープモードにする
 - ①カメラとコントローラーの電源を入れる
 - ②コントローラーの【】(電源)を押すカメラがスリープモードになり、カメラの動作確認ランプが緑色でゆっくり点滅します。
- 無線モード画面を表示する
 - ①“” (呼び出し) をタッチする
 - ②無線モードアイコン“” をタッチする

2. スマートフォンで“EXILIM Connect”を起動する

3. スマートフォンで“リモートで撮影する”をタップする

4. スマートフォンで撮影範囲を確認しながら撮影する

“スマートフォンで撮影”の詳しい使用方法については、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(65ページ)。

Bluetooth無線技術で接続できない場合

1. 無線モードアイコン“”をタッチする

2. “スマートフォンで撮影”をタッチする

3. “開始”をタッチする

- スマートフォンとカメラが無線LANで接続中の場合は、手順5へ進んでください。

4. スマートフォンのWi-Fi設定で、カメラに表示されているSSIDを選び、カメラとスマートフォンを無線LANで接続する


5. スマートフォンで“EXILIM Connect”を起動する

6. スマートフォンで撮影範囲を確認しながら撮影する

“スマートフォンで撮影”の詳しい使用方法については、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(65ページ)。

カメラで撮影した画像を選んでスマートフォンに送る (選択して送る)

カメラで撮影した静止画や動画を選んでスマートフォンに送信できます。一度に送信できるファイルは50枚、または合計容量が500MBまでです。また、画像送信後にSNSに送ることもできます。

1. 無線モードアイコン“”をタッチする
2. “スマートフォンへ送る”をタッチする
3. “選択して送る”をタッチする
4. スマートフォンに送りたい画像をタッチする
選んだ画像にチェックマークが付きます。
 - スマートフォンに画像を送るのをやめるには、“キャンセル”をタッチしてください。
5. スマートフォンに送りたい画像をすべて選んだら、“OK”をタッチする
以降、“選択して送る”の使用方法については、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(65ページ)。

カメラで撮影した画像をスマートフォンで見る (スマートフォンから見る)

スマートフォンをカメラと無線LAN接続することで、最大8台のスマートフォンのブラウザからカメラに保存されている静止画を見たり、静止画や動画をコピーして見ることができます。また、パソコンをカメラと無線LAN接続することで、パソコンでカメラに保存されている静止画や動画を見たり、コピーすることができます。この機能は、専用アプリ EXILIM Connectがスマートフォンにインストールされていない状態でも使用できます。

1. 無線モードアイコンをタッチする

2. “スマートフォンへ送る”をタッチする

3. “スマートフォンから見る”をタッチする

スマートフォンがカメラに接続され、URLが表示されます。

- “スマートフォンで以下のアクセスポイントに接続してください”というメッセージが消えない場合は、スマートフォンのWi-Fi設定で本機を選んでください(67ページ)。

4. スマートフォンのブラウザアプリを起動する

- カメラに表示されたURLにアクセスすると、カメラに保存されている画像が表示されます。
- 無線LAN機能を終了するには、カメラ側で“終了”をタッチしてください。



URL

重要

- スマートフォンの機種によっては、動画が再生できないことがあります。

参考

- パソコンの無線LANを設定してカメラと接続すると、パソコンのブラウザでカメラに保存されている画像を見ることもできます。
- EXILIM Connectを起動して画像を見る方法については、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(65ページ)。

なお、Bluetooth無線技術で接続中の場合とBluetooth無線技術で接続できない場合とでは操作が異なります。ご注意ください。

無線接続の設定をする

ここでは、無線モードでの操作や設定できる項目について説明します。

1. 無線モードアイコンをタッチする

無線モード画面が表示されます。

- シャッターを押すと、無線モード画面を表示する前の状態に戻ります。

2. “無線設定”をタッチする

無線設定画面が表示されます。

3. 設定したい項目をタッチする

4. 選んだ項目の設定を変更する

- 設定を変更すると、無線モード画面に戻ります。

撮影した画像をスマートフォンに自動で送信する(自動送信)

操作手順: 無線モードアイコン → 無線設定 → 自動送信

“入”にして撮影すると、ペアリングしているスマートフォンに画像が自動で送信されます。画像は、カメラがスリープモードになっているときにスマートフォンに送信されます。スマートフォンと無線で接続していない場合は、スマートフォンと接続できない、画像が送信されません。

- 画像を送信中は、カメラの無線LAN接続確認ランプが点滅または点灯します。画像の送信が終了すると、ランプが消灯します。

重要


- 自動送信は、カメラとスマートフォンがペアリング(67ページ)していないと“入”に設定できません。
- インターバル撮影で撮影した画像は、自動送信機能でスマートフォンに送ることができません。



参考

- 自動送信できるのは、Bluetooth low energy 技術対応のスマートフォンだけです。また、カメラの画像が自動送信されるには、Bluetoothと無線LANの両方が接続されている必要があります。
- 送信する静止画の画像サイズは、“送信時リサイズ”(74ページ)で設定できます。
- スマートフォンで受け取った画像は以下で確認できます。
 - iPhone: “写真”アプリの“カメラロール”
 - Android端末: “ギャラリー”、“フォト”などの写真閲覧アプリ
- 自動送信を“入”にして撮影した画像は、自動送信を“切”に設定してもスマートフォンに送信されます。

- 未送信の画像が残った状態でカメラとスマートフォンの接続が切れた場合は送信が中断しますが、再びカメラとスマートフォンを接続後にカメラがスリープモードになったら送信が再開します。
- スマートフォンに送信されていない画像を消去すると、自動送信は行われません。

自動送信で送信する画像を選ぶ(自動送信ファイル設定)

操作手順: 無線モードアイコン“” → 無線設定 → 自動送信ファイル設定
自動送信機能でスマートフォンに送信する画像の種類を指定します。

	静止画と動画が送られます。
	静止画のみが送られます。

重要

- 自動送信機能で送信できる動画の1ファイルサイズは100MBまでです。
- 自動送信ファイル設定は、カメラとスマートフォンがペアリング(67ページ)していないと設定できません。

静止画をリサイズしてスマートフォンに送信する(送信時リサイズ)

操作手順: 無線モードアイコン“” → 無線設定 → 送信時リサイズ

“スマートフォンで撮影”で直前に撮影した画像をスマートフォンに送信する、または“スマートフォンへ送る”を使用して画像を送信するときにリサイズできます。

3M	3Mにリサイズされて送信されます。 • 3M以下の画像の場合は、撮影時のサイズで送信されます。
切	撮影時の画像サイズで送信されます。

参考

- 本機以外のカメラで撮影された画像はリサイズされません。

静止画に位置情報を付け加える(位置情報)

操作手順: 無線モードアイコン“” → 無線設定 → 位置情報


カメラで撮影時にスマートフォンにより位置情報(緯度・経度)を取得し、スマートフォンに送信した静止画に撮影した場所の位置情報を付け加えることができます。なお、動画およびインターバル撮影で自動撮影した静止画には位置情報は付け加えられません。

入	スマートフォンに送信された静止画に位置情報を付け加えます。
切	位置情報を付け加えません。

重要



- カメラとスマートフォンをBluetooth無線技術で接続したときのみ使用できます。
- 位置情報を“入”に設定する場合は、カメラとスマートフォンをペアリング(67ページ)してください。
- 位置情報を“入”に設定すると、カメラで静止画を撮影するごとに、撮影した時点での位置情報をスマートフォンが取得します。
- カメラ内に保存された静止画に、位置情報は付け加えられません。位置情報はスマートフォンに送信されたのちに静止画に付け加えられます。
- この機能を使用するときは、必ずスマートフォンが位置情報を取得できる状態にしてください。スマートフォンが位置情報を取得できない状態になっていると、位置情報は付け加えられません。
- 位置情報付加の成功/失敗は、スマートフォンの画像受信画面で確認できます。
- スマートフォンが取得した位置情報は、スマートフォン内に10,000件まで保存できます。10,000件を超えた場合は、古い位置情報から削除されます。
- 位置情報サービスを使用すると、位置情報が静止画に含まれるため個人を特定されることがあります。ウェブサービスなどで画像を公開する場合はご注意ください。
- 本機を航法装置や測量等に使用できません。

無線LAN接続時のカメラのパスワードを変更する (無線LANパスワード)

操作手順: 無線モードアイコン“” → 無線設定 → 無線LANパスワード
カメラにスマートフォンを無線LANで接続するとき使用するパスワードを変更できます。

重要


- 無線LANパスワードの変更は、ペアリングを解除してから行ってください(76ページ)。

1. 変更したい値をタッチする
2. “”“”をタッチして値を変更する
3. 設定が完了したら、“OK”をタッチする

参考

- 無線LANパスワードを変更すると、スマートフォンとの接続が解除されますので、再度無線接続設定を行ってください(67ページ)。なお、Bluetooth low energy 技術非対応のスマートフォンの場合は、下記のように操作して、スマートフォンのWi-Fi設定も変更してください。
 - iPhone:
Wi-Fiの設定のカメラのSSIDを表示している欄の右矢印をタップし、ネットワークの設定を削除してください。削除後、再びカメラのSSIDを選択して、新しいパスワードを入力してください。
 - Android端末:
Wi-Fiの設定のカメラのSSIDを表示している欄をタッチし、いったん切断を選択してください。再びカメラのSSIDを選択して、新しいパスワードを入力してください。

ペアリングを解除する(ペアリング解除)

操作手順: 無線モードアイコン“” → 無線設定 → ペアリング解除
ペアリングを解除します。
本機を他のスマートフォンに接続する場合は、ペアリングを解除してください。

参考

- ペアリングを解除するときは、スマートフォンでもペアリングを解除する操作を行ってください。詳しくは、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(65ページ)。
- ペアリングを解除すると、未送信の画像は送信されなくなります。

プリント(印刷)する

お店で プリントする

画像が入ったメモリーカードを、プリントサービスのお店に持参してプリントします。



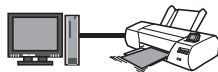
プリンターで プリントする

プリンターのスロットにメモリーカードを直接セットしてプリントできます。詳しくは、プリンターに付属の説明書に従って操作してください。



パソコンを使って プリントする

画像をパソコンに取り込んだ後、市販のプリントソフトを使ってプリントします。



パソコンを使って印刷する

パソコンに保存した画像を印刷する方法はさまざまですが、ここでは、一般的な印刷方法を説明します。

■ Windowsの場合

1. 「画像をパソコンに保存する/パソコンで見る」(79ページ)に従って、画像をパソコンに保存して、印刷したい画像を表示する
2. “印刷”→“印刷”の順でクリックする
3. 印刷内容を設定して、印刷する
印刷内容を設定し、“印刷”をクリックしてください。



■ Macintoshの場合

1. 「画像をパソコンに保存する/パソコンで見る」(83ページ)に従って、画像をパソコンに保存して、印刷したい画像を表示する
2. “ファイル”→“プリント”の順でクリックする
3. 印刷内容を設定して、“プリント”をクリックする
選択した画像が印刷されます。

パソコンを利用する

パソコンを使ってできること

カメラをパソコンに接続して、次のことができます。

パソコンに画像を保存して見る		<ul style="list-style-type: none">• 手動でパソコンに保存して見ることができません(USB接続)(79, 83ページ)。
動画を再生・編集する		<ul style="list-style-type: none">• 動画を再生することができます(82, 84ページ)。• 動画を編集する場合は、必要に応じて、市販のソフトをご利用ください。

操作のしかたは、Windowsパソコンの場合とMacintoshの場合で異なります。

- Windowsパソコンの場合→「Windowsパソコンを利用する」(78ページ)
- Macintoshの場合→「Macintoshを利用する」(82ページ)

Windowsパソコンを利用する

使用目的	OSのバージョン	必要なソフト
パソコンに手動で画像を保存して表示	Windows 10/ Windows 8.1/ Windows 7/ Windows Vista	インストールする必要はありません。
動画の再生	Windows 10/ Windows 8.1/ Windows 7	Windows Media Player 12
	Windows Vista	拡張子がMOVの動画ファイルを再生できるソフトウェアが必要です。 必要に応じて、ダウンロードしてご利用ください。

- 上記の環境は、動作を保証するものではありません。
- お使いのパソコンの性能、設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。

画像をパソコンに保存する／パソコンで見る

カメラをパソコンに接続して、画像（静止画や動画などのファイル）をパソコンに保存したり、パソコンで見ることができます。

内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。

画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。

重要

- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

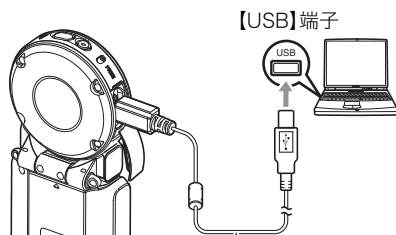
参考

- 市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットで、直接メモリーカードから画像を取り込むこともできます。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. カメラの【**⏻**】（電源）を約2秒間押し続けて電源を切り、付属のマイクロUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する

- カメラとの詳しい接続方法、接続時の注意などについては、20ページをご覧ください。



マイクロUSBケーブル(付属品)

2. カメラの【**⏻**】（電源）を押して、カメラの電源を入れる

カメラの電源が入ると、カメラの動作確認ランプが赤点灯から緑点灯またはオレンジ点灯に切り替わりますので、確認してください(20ページ)。なお、液晶モニターは点灯しません。

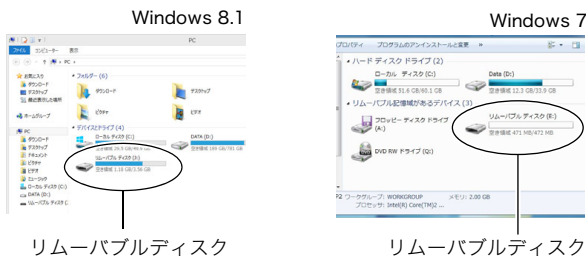
- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。

3. Windows 10:“スタート”→“エクスプローラー”の順でクリックし、サイドバーにある“PC”をクリックする
 Windows 8.1:“デスクトップ”→“エクスプローラー”の順でクリックする
 Windows 7/Windows Vista:“スタート”→“コンピューター”の順でクリックする



4. “リムーバブルディスク”をダブルクリックする

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。



5. “DCIM”フォルダーを右ボタンでクリックする



6. メニューの“コピー”をクリックする

**7. Windows 10/Windows 8.1:“ドキュメント”をクリックする
Windows 7/Windows Vista:“スタート”→“ドキュメント”の順でクリックする**

- すでに“DCIM”フォルダーが保存されている場合は、上書きされてしまいます。すでに保存されている“DCIM”フォルダーの名前を変えるなどしてからコピーしてください。

8. Windows 10/Windows 8.1:“ドキュメント”メニューで、“ホーム”→“貼り付け”の順でクリックする

Windows 7/Windows Vista:“ドキュメント”メニューで、“整理”または“編集”→“貼り付け”の順でクリックする

“DCIM”フォルダー(画像ファイルが保存されているフォルダー)が“ドキュメント”フォルダーにコピーされ、画像も一緒にパソコンに保存されます。

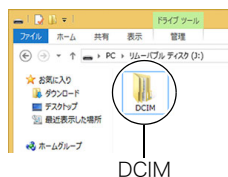
- コピーが完了したら、“DCIM”フォルダーを右ボタンでクリックし、フォルダーの名前を変更することをおすすめします。

9. コピーが終了したらカメラをパソコンから外す

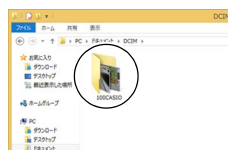
パソコンのモニター上に表示されるコピーや読み込みの進行中の表示が終了してから、表示している画像を閉じ、USBケーブルを外してください。

■ パソコンに保存した画像を見る

1. コピーした“DCIM”フォルダーをダブルクリックして、フォルダーを開く



2. 見たい画像が入ったフォルダーをダブルクリックして開く



3. 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる

- ファイル名については「メモリー内のフォルダー構造」(86ページ)を参照ください。
- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。
- 連写およびインターバル撮影のグループをパソコンで見た場合、個別の画像で表示されます。グループ単位では表示されません。



■ 動画再生のご注意

- パソコンに動画データを保存してから、その画像ファイルをダブルクリックして再生してください。ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。
- お使いのパソコンの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は以下をお試しください。
 - 開いている他のソフトウェアを閉じたり、常駐ソフトを止める。

Macintoshを利用する

使用目的	OSのバージョン	必要なソフト
パソコンに手動で画像を保存して表示	OS X	インストールする必要はありません。
動画の再生	OS X 10.5以降	QuickTime Player (パソコンにインストール済み)

- 上記の環境は、動作を保証するものではありません。
- お使いのパソコンの性能によっては、正しく動作しない場合があります。

画像をパソコンに保存する/パソコンで見る

内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。

画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。


重要

- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。
- Mac OS Xの10.0~10.4ではご使用できません。10.5~10.12のみで使用できます(OS標準のUSBドライバーを使用)。

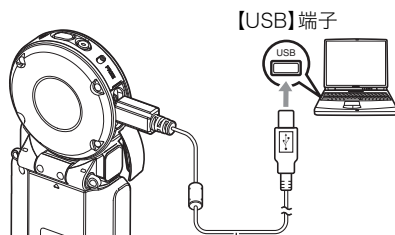
参考

- 市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットで、直接メモリーカードから画像を取り込むこともできます。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. カメラの【】(電源)を約2秒間押し続けて電源を切り、付属のマイクロUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する

- カメラとの詳しい接続方法、接続時の注意などについては、19ページをご覧ください。



マイクロUSBケーブル(付属品)

2. カメラの【】(電源)を押して、カメラの電源を入れる

カメラの電源が入ると、カメラの動作確認ランプが赤点灯から緑点灯またはオレンジ点灯に切り替わりますので、確認してください(20ページ)。

パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「ドライブ」として認識します。Mac OSのバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。

- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。

3. 表示されたドライブをダブルクリックする



4. “DCIM”フォルダーをデスクトップにドラッグアンドドロップして、画像をパソコンにコピーする

5. コピーが終了したらドライブを“取り出し”または“ゴミ箱”ヘドラッグアンドドロップする

6. カメラをパソコンから外す

パソコンのモニター上に表示されるコピーや読み込みの進行中の表示が終了してから、表示している画像を閉じ、USBケーブルを外してください。

■ パソコンに保存した画像を見る

1. 表示されたドライブをダブルクリックする

2. “DCIM”フォルダーをダブルクリックして、フォルダーを開く

3. 見たい画像が入ったフォルダーをダブルクリックして開く

4. 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる

- ファイル名については「メモリー内のフォルダー構造」(86ページ)を参照ください。
- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。

■ 動画再生時のご注意

- パソコンに動画データを保存してから、その画像ファイルをダブルクリックして再生してください。ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。
- お使いのMacintoshの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は、以下をお試しください。
 - 実行中の他のソフトウェアを終了する

ファイルとフォルダーについて

本機では、撮影した静止画などのひとつひとつが個別のデータとして記録されます。個別のデータのことを「ファイル」と呼びます。各ファイルは、「フォルダー」と呼ばれるまとまりにグループ分けされます。ファイル、フォルダーには、区別のための名前が自動的に付きます。

- フォルダー構造の詳細は、「メモリー内のフォルダー構造」(86ページ)をご覧ください。

	名前と最大作成数	例
ファイル	"CIMG0001"から"CIMG9999"までで、最大9999個のファイルが1つのフォルダーに作成されます。拡張子は記録したファイルの形式によって異なります。	26番目に記録した ファイル名: CIMG0026.JPG 連番(4桁) 拡張子
フォルダー	"100CASIO"から"999CASIO"までで、最大900のフォルダーが作成されます。	連番100のフォルダー名: 100CASIO 連番(3桁)

- フォルダー名、ファイル名は、パソコンで見ることができます。カメラの液晶モニターでの表示については、9ページをご覧ください。
- 保存できるフォルダー数、ファイル数は、サイズや画質、メモリーカードの容量によって異なります。

メモリー内のデータについて

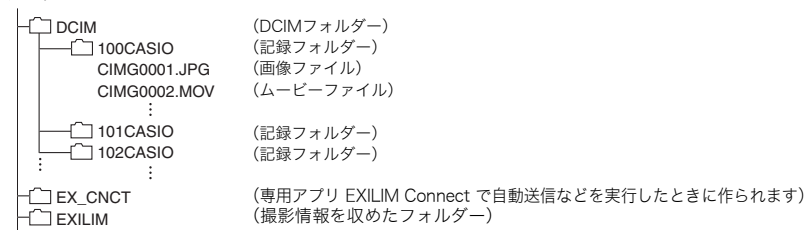
本機で撮影された画像は、DCF (Design rule for Camera File system) 規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。

■ DCF規格について

- 本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見ることができます。
 - 本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のプリンターで印刷することができます。
 - DCF規格対応の他社のカメラの画像を本機で見ることができます。
- ただし、上記項目の動作はすべて保証するものではありません。

■ メモリー内のフォルダー構造

メモリー



■ このカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

■ パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときのご注意

- メモリーの内容をパソコンに保存する際は“DCIM”フォルダーごと保存してください。その際“DCIM”フォルダーの名前を年月日などに変えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンに保存したファイルをカメラに戻す場合は、フォルダー名をパソコン上で“DCIM”に戻しておいてください。本機では“DCIM”以外の名前のフォルダーは認識されません。“DCIM”フォルダー内の他のフォルダー名を変えた場合も同様です。
- フォルダーやファイルをカメラで正しく認識させるためには、メモリー内のフォルダー構造が86ページのフォルダー構造のとおりである必要があります。

その他の設定について

ここでは撮影モードと再生モードのどちらでも操作や設定ができるメニュー項目について説明します。

メニューの操作については、46ページをご覧ください。

液晶モニターの明るさを変える(液晶設定)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → 液晶設定

液晶モニターの明るさを切り替えることができます。

+2	“+1”に比べてさらに液晶が明るくなり、見やすくなります。反面、消費電力が大きくなります。
+1	屋外などの明るい場所で使用する場合の設定です。“0”に比べて液晶が明るくなり、見やすくなります。
0	屋内などの明るすぎない場所で使用する場合の設定です。
-1	周囲へのマナーに配慮したり、暗い場所で使用する場合の設定です。
-2	“-1”に比べてさらに液晶が暗くなります。暗い場所でも液晶が見やすくなります。

液晶モニターに表示される内容を選ぶ(情報表示)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → 情報表示

“入”にすると、設定内容の情報などが画面に表示されます。

カメラやコントローラーの画面の向きを固定する(回転ロック)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → 回転ロック

カメラが写す画像やコントローラーに表示される向きを固定、またはカメラやコントローラーの向きを判別して正しい向きで表示できます。

カメラ	切	撮影時にカメラの向きを判別して、向きの情報も画像に保存します。再生時には、向きの情報に応じて表示されます。
	ロック	撮影時にカメラの向きを判別せず、常に横向き画像として保存します。
コントローラー	切	コントローラーの向きに合わせて画面が回転します。
	ロック	“ロック”にしたときのコントローラーの向きに、画面の表示方向が固定されます。



参考

- 再生環境によっては、正しい向きに画像が表示されないことがあります。

カメラの音を設定する(カメラ音)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → カメラ音

電源を入れたときや撮影時、およびエラーが起こったときなどの音の大きさが調節できます。

	大きい
	小さい

- 設定に関わらず、インターバル撮影中は、撮影音は鳴りません。

バイブレーション機能を使う(バイブレーション)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → バイブレーション

“入”にすると、以下のときにコントローラーが振動します。



- 撮影直後、コントローラーの画面に“タイプ1”で撮影レビューが表示されたとき
- カメラとコントローラーの通信が切断したとき
- エラーが起こったとき
- フォーカスロック時



カメラの日時を設定し直す(日時設定)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → 日時設定

日時を変更できます。

1. 変更したい値(年、月、日、時、分)をタッチする

2. “”“”をタッチして、日時を合わせる

- 入力できる日付は、2001年～2049年です。
- 12時間/24時間表示を切り替えるには、時間表示切替アイコンをタッチします。
- “”“”をタッチし続けると、早送りできます。



時間表示切替

3. “OK”をタッチする

参考

- 専用アプリEXILIM Connectに接続して、EXILIM Connectでカメラの日時を設定することにより、カメラのタイムゾーンをスマートフォンのタイムゾーンに合わせて切り替えることができます。詳しくは、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(65ページ)。

日付の表示の並びを変える(表示スタイル)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → 表示スタイル

画面に表示される日付の表示スタイルを3つの中から選ぶことができます。

例) 2017年7月10日

年/月/日	17/7/10
日/月/年	10/7/17
月/日/年	7/10/17

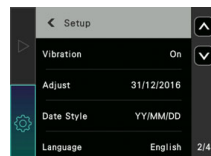
表示言語を切り替える(Language)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → Language

画面のメッセージの言語を設定します。

■ 画面が外国語表示になってしまったとき

1. 画面を上下にフリックして“日本語”を表示させ、タッチする



コントローラーがスリープモードになるまでの時間を変える(スリープ)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → スリープ

コントローラーの画面の表示が消えてスリープモードになるまでの時間を設定します。設定時間は“30秒”、“1分”または“5分”から選ぶことができます。

メモリーをフォーマットする(フォーマット)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → フォーマット

カメラにメモリーカードが入っている場合はメモリーカードを、メモリーカードが入っていない場合は内蔵メモリーをフォーマットできます。

- フォーマットすると、メモリーの内容がすべて消去され、元に戻すことはできません。本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- 内蔵メモリーやメモリーカードをフォーマットした場合、フォーマットしたメモリー内のプロテクトされた画像も同時に消去されます。
- フォーマットするときは、電池残量が十分であることを確認してください。フォーマット中に電源が切れると、正しくフォーマットされず、カメラが正常に動作しなくなる恐れがあります。

各種設定を購入直後の設定に戻す(リセット)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → リセット

購入直後の設定(初期値)については、112ページを参照ください。

下記の項目は、リセットしても初期値に戻りません。

日時設定、表示スタイル、Language、無線LANパスワード

参考

- リセットしても、ペアリングは解除されません(67ページ)。

カメラのファームウェアのバージョンを確認する (バージョン情報)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → バージョン情報

カメラの機種名、カメラに搭載されているファームウェアのバージョンを表示します。

- カメラのファームウェアをバージョンアップしたあとは、この画面をご確認ください。

耐衝撃性能、防水／防塵性能について

本製品は、耐衝撃性能、防水／防塵性能を備えています。

● 耐衝撃性能:

MIL-Standard 810F Method 516.5-Shockを参考に策定した当社独自規格による試験※1をクリアしています。※2

※1 カメラ、コントローラー各々単体において、1.7mの高さから合板(ラワン材)への10方向(6面、4稜)の落下試験
(カメラ、コントローラー合体時は1.3m)

※2 衝撃については日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、故意に極度な衝撃を与えた場合は壊れる場合がありますのでご注意ください。また、本機の性能に異常がなくても落下衝撃にてキズ等が発生します。

● 防水性能:

JIS／IEC防水保護等級8級(IPX8)※3および6級(IPX6)に相当します。水深1.5mの水中で60分間の連続使用※4ができるほか、あらゆる方向からの水の直接噴流にも耐えられます。※5

※3 当社の定める指定時間および指定圧力の水中で使用可能なことを意味しています。なお、水中ではタッチパネルの操作はできません。

※4 当社の定める試験条件によります。

※5 モーターボートや水上バイクなど、水上を高速で移動するような場面では使用できません。

● 防塵性能:

JIS／IEC防塵保護等級6級(IP6X)に相当します。

★ 重要

- 本製品の耐衝撃性能、防水／防塵性能は、当社試験方法によるもので、無破損・無故障・性能を保証するものではありません。

■ 水中で使用する前のご注意

本機は水深1.5mまでの環境で水中撮影を行うことができますが、以下の点に注意してお使いください。

- 水中や水滴がかかる場所で撮影すると、撮影中や次の撮影時にレンズ部が曇る場合があります。そのようなときは、撮影前にカバー類を開けた状態で本機を市販のシリカゲルと一緒にビニール袋に入れ、製品内部を除湿すると曇りにくくすることができます。
- 【CARD】カバーや【USB】カバーのパッキンとその接触面にゴミ、砂等の異物が付着していないことを確認し、異物が付着している場合は清潔で乾燥した柔らかい布で取り除いてください。たとえ髪の毛1本、砂粒1個など小さなものが挟まただけでも漏水することがあります。
- 【CARD】カバーや【USB】カバーの防水パッキンにひび割れ、キズ等がないことを確認してください。
- 【CARD】カバーや【USB】カバーは、しっかり閉じてください。
- 水辺や潮風のあたる場所での【CARD】カバーや【USB】カバーの開け閉め、および濡れた手での開け閉めは避けてください。撮影時にレンズ部が曇る原因となります。
- 本機は水中に沈みますので、ストラップを装着するなどして、落とさないようにしてください。

- 本機の防水機能は、海水と真水にのみ対応しています。温泉では使えません。
- 本機を低温下、または40°C以上の高温になる場所(特に強い太陽光の当たるところ、炎天下の自動車内など)に長時間放置しないでください。防水性能が劣化します。
- 水中では無線LAN、Bluetooth無線技術での無線通信は使用できません。カメラだけを水中に入れた場合も、水上のコントローラーやスマートフォンには接続できません。
- 水中ではコントローラーのタッチパネルは使用できません。

■ 水中で使用中的ご注意

- 水深1.5m以内、水温0°Cから40°Cの範囲内の場所で使用してください。
- 水中で60分を超えての連続使用はしないでください。
- 連続して水中で使用した後は、防水用特殊シートの性能を維持するため、15分程度間を空けてから使用してください。
- 水中での【CARD】カバーや【USB】カバーの開け閉めはしないでください。
- 本機を持ったまま水中に飛び込まないでください。また、急流や滝など、激しく水のかかる場所で使用しないでください。強い水圧がかかり、漏水や故障の原因になることがあります。
- 本機を故意に水中に落としたり、水面にたたきつけたりしないでください。漏水することがあります。

■ 水中で使用後のご注意

- 【CARD】カバーや【USB】カバーは、本機についた水滴や汚れを清潔で乾燥した柔らかい布で十分に拭き取った後、開いてください。
- 【CARD】カバーや【USB】カバーを開いたとき、カバーの内側表面に水滴がつくことがあります。水滴がついているときは、必ず拭き取ってからご使用ください。水滴が残っていると撮影時にレンズ部が曇る原因となります。

■ 使用後のお手入れについて

砂や泥がついたり、水中で使用した後は、【CARD】カバーや【USB】カバーをしっかりと閉めた状態で、以下の手順に従って本機を水洗いしてください。

1. 真水に浸して洗う

- バケツなどに水道水などの真水を入れ、その中に本機を10分程さらし、ゴミ、泥、砂などが良く落ちるように本機を軽くゆすりながら洗います。
- 汚れたままのレンズ面、液晶モニターは、こすらないでください。



2. 水気を拭き取る

- 清潔で乾燥した柔らかい布で本機の水気を拭き取ってください。水気を拭き取り終えたら、【CARD】カバーと【USB】カバーに水分が残っている場合がありますので、カバーを開けたまま風通しの良い日陰で完全に乾燥させてください。水分が残った状態でカバーを閉めると、撮影時にレンズ部が曇る原因となります。

重要

- 水洗いは30°C以下の水道水で洗ってください。水漏れや故障の原因となりますので洗剤や熱湯、強い水流で洗わないでください。
- 本機を振り回して水切りしたり、ドライヤーなどで強制的に乾燥させないでください。
- 洗濯機などで洗わないでください。

■ 使用後のご注意

- 高温(40°C以上)や低温(-5°C未満)の場所に放置しないでください。防水性能を保てない場合があります。
- 洗浄、防錆、防曇等の目的で薬品類は使用しないでください。防水性能を保てない場合があります。
- 水中で使用後は、真水にさらしていない状態で60分以上放置しないでください。本機の外観不良、防水性能劣化の原因となります。
- 防水性能を維持するために、1年に一度防水パッキンの交換をお勧めします(防水パッキンの交換は有料になります)。防水パッキンの交換につきましては、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ その他のご注意

- 本製品の付属品のUSBアダプターとマイクロUSBケーブルは、防水性能はありません。
- 本機に極度な衝撃が加わると、防水性能を保てない場合があります。
- 寒冷地では本機に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。
- 取り扱い上の不注意により、万一、水漏れ事故を起こした場合、内部機材(充電機、記録メディアなど)の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦願います。
- デジタルカメラの水没事故は、当社では一切その責任を負いかねます。
- 水中使用時の事故(人身事故など)の補償はいたしかねます。

使用上のご注意

■ データエラーのご注意

本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。

- カメラの動作中にメモリーカードを抜いた
- カメラの電源を切ったときに動作確認ランプが緑色に点灯している状態でメモリーカードを抜いた
- 通信中にUSBケーブルが外れた
- その他の異常操作

このような場合、画面にメッセージが表示される場合があります(116ページ)。メッセージに対応した処置をしてください。

■ 使用環境について

- 使用可能温度範囲: -5~40°C
- 使用可能湿度範囲: 10~85% (結露しないこと)
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる場所、湿気やホコリ、砂の多い場所
 - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
 - 日中の車内、振動の多い場所

■ 結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房された室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付き(結露)、故障の原因となります。結露を防ぐには、本機をビニール袋で密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に十分慣らしてから取り出して、数時間放置してください。
- 暖かい部屋や湿度の高いところでカメラのカバー類の開け閉めを行うと、製品内部に暖かい空気や湿度の高い空気がこもり、撮影時にレンズ部が曇る場合があります。そのようなときは、撮影前にカバー類を開けた状態で本機を市販のシリカゲルと一緒にビニール袋に入れ、製品内部を除湿すると曇りにくくすることができます。

■ レンズについて

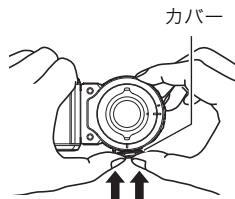
- レンズ面は強くこすったりしないでください。レンズ面に傷が付いたり、故障の原因となります。
- レンズの特性(歪曲収差)により、撮影した画像の直線が歪む(曲がる)場合がありますが、故障ではありません。

■ カメラのお手入れについて

- レンズ面には触れないでください。レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、プロアー等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- 本機が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

■ カメラの【CARD】カバー、【USB】カバーの閉じかた

カバーを片手で閉じると、カメラ本体から浮いてしまう場合があります。両手の親指でカバーを左右均等に押し込んで閉じてください。



■ 無線機能(無線LAN、Bluetooth無線技術)の使用上のご注意

- この製品は、無線を利用しているため、周りの機器に影響を与えたり、影響を及ぼされる可能性があります。
- 本機は米国再輸出規制(EAR)の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。

使用周波数について

本機は2.4GHz帯周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。

他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、「お客様相談窓口」に記載されている連絡先までお問い合わせください。

周波数の見方について

無線LAN

2.4DS/OF2

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SSおよびOFDM方式を採用し、与干渉距離は20mです。

Bluetooth
無線技術

2.4FH1/XX1

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SSおよびその他の方式を採用し、与干渉距離は10mです。

電波転送の傍受について

電波によるデータの送受信は第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

不正アクセスについて

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、当社では一切の責任を負いかねます。

無線機器としての利用について

本製品の無線機能は、この取扱説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途で使用して損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねます。

磁場・静電気・電波障害について

電子レンジ付近など磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。環境により電波が届かないことがあります。

また、2.4GHz帯の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

公衆LANへの接続に関して

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

仕向地について

本機の無線LAN機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規格等に違反するおそれがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

■ その他の注意

使用中、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。

■ 著作権について

カメラで記録した静止画や動画は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。ただし、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、これらのファイルを有償・無償に関わらず、権利者の許可なく、ネット上のホームページや共有サイトなどに掲載したり、第三者に配布したりすることも著作権法や国際条約で固く禁じられています。たとえば、録画したTV番組やライブコンサートの映像、音楽ビデオなど自分で撮影や録画したものであっても、動画共有サイトなどに掲載したり配付したりすると、他者の権利を侵害する恐れがあります。万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。なお、本文中には、™マーク、®マークを明記していません。

- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Windows, Windows Vista, Windows 7, Windows 8.1、およびWindows 10は、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
- Macintosh, Mac OS, QuickTimeおよびiPhoneは、Apple Inc.の商標です。
- iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Adobe, Reader はAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- AndroidおよびGoogle PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- iOSは米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by CASIO COMPUTER CO., LTD. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

- コントローラー部に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

- EXILIMおよびEXILIM Connectは、カシオ計算機(株)の登録商標または商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

本製品に弊社が提供しているソフトウェアを、無断で営業目的で複製(コピー)したり、頒布したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。

■ オープンソースソフトウェア (Open Source Software) について

本製品には、以下のライセンス条件に基づいてライセンスされているソフトウェアが含まれています。

OpenVG 1.1 Reference Implementation

Copyright (c) 2007 The Khronos Group Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and /or associated documentation files (the "Materials"), to deal in the Materials without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Materials, and to permit persons to whom the Materials are furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Materials.

THE MATERIALS ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE MATERIALS OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE MATERIALS.

bluedroid 5.0.0_r2

Copyright (c) 2014 The Android Open Source Project
Copyright (C) 1998-2014 Broadcom Corporation

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

Apache License
Version 2.0, January 2004
<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction,

and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 - (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or,

within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. **Submission of Contributions.** Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. **Trademarks.** This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. **Disclaimer of Warranty.** Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. **Limitation of Liability.** In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

bluedroid 5.0.0_r2

Copyright (c) 1998-2008, Brian Gladman, Worcester, UK. All rights reserved.

LICENSE TERMS

The redistribution and use of this software (with or without changes) is allowed without the payment of fees or royalties provided that:

1. source code distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer;
2. binary distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in their documentation;
3. the name of the copyright holder is not used to endorse products built using this software without specific written permission.

DISCLAIMER

This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties in respect of its properties, including, but not limited to, correctness and/or fitness for purpose.

libhardware 5.0.0_r2

Copyright (c) 2005-2014, The Android Open Source Project

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.

See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

Apache License
Version 2.0, January 2004
<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions

to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 - (a) You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 - (b) You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 - (c) You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and

attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

- (d) If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. **Submission of Contributions.** Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.
6. **Trademarks.** This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. **Disclaimer of Warranty.** Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. **Limitation of Liability.** In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. **Accepting Warranty or Additional Liability.** While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

充電について

■ 充電中にカメラおよびコントローラーの動作確認ランプが赤色に点滅したときは

充電中にカメラおよびコントローラーの動作確認ランプが赤色に点滅したときは、以下のいずれかの場合により充電できないことを示しています。説明に従って処置したあとに、再度充電してください。

周辺温度または電池の温度が、高温または低温状態である場合

USBケーブルを抜いて常温でしばらく放置したあと、周囲の温度が15°C～35°Cの温度範囲で充電を再開してください。

タイマーが働いた場合

電池の未使用期間が長期化した場合や、パソコンの種類や接続環境によっては充電時間が延びる場合があります。充電時間が約5時間を超えると、タイマーが動き、フル充電でない場合でも充電を停止します。

また、電池の未使用期間が更に長期化した場合は約60分で充電を停止することもあります。

1) 長期間充電しなかった場合

USBケーブルを一度抜いて、再度差し込んで充電を再開してください。

2) パソコンで充電する際、接続環境によって十分な電力を供給できない場合

USB2.0準拠のUSB端子からのみ充電できます。500mA程度の電流供給ができるUSBポートに直接差し込んでください。

パソコンの給電能力については、ご使用のパソコンのメーカーにお問い合わせください。USBケーブルを一度抜いて、再度差し込んで充電を再開することもできますが、給電能力が低いパソコンの場合は、この動作を繰り返さないとフル充電にならない場合があります。

上記の処置をしてもエラーが起こる、または5時間を超えても充電が終了しない場合は、電池の不良が考えられます。別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

電池に関するご注意

■ 使用上のご注意

- 寒い場所では、電池の特性上、十分に充電されていても、使用時間が短くなります。
- 15°C～35°Cの温度範囲で充電してください。範囲外の温度では、充電時間が長くなったり、十分な充電ができないことがあります。

■ 保管上のご注意

- 充電された状態で長期間保管すると電池の特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保管してください。
- 過放電を防止するために、電池は半年に1回くらいの割合で一度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。

海外で使うときは

■ 使用上のご注意

- 付属のUSB-ACアダプター(AD-C54UJ)はAC100V～240V、50/60Hzの電源に対応していますが、使用する国・地域によってUSB-ACアダプターのプラグ形状等が異なるため、あらかじめ旅行代理店などにお問い合わせください。
- USB-ACアダプターの電源に、電圧変換器等はご使用にならないでください。故障の原因となります。

カメラを廃棄するときは

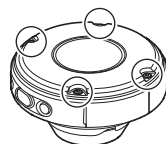
本機を廃棄する場合は、カメラとコントローラーに内蔵のリチウムイオン充電電池を取り出してリサイクルしてください。

★ 重要

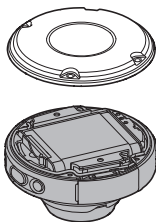
- 本機の電池はご自分で交換できません。電池を交換したい場合は、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 電池を外すときは、本機の電源を切ってください。
- 電池をカメラから取り出すときに、パネルの縁で手を切らないようにご注意ください。
- ネジを取り外すときは、プラスの精密ドライバーを使用してください。

■ カメラ

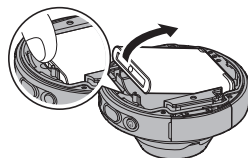
1. 背面のネジを4箇所外す



2. 背面カバーを取り外す

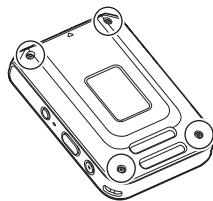


3. 図の位置に指を掛けて、電池を取り外す

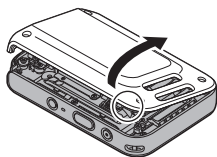


■ コントローラー

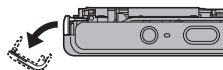
1. 背面のネジを4箇所外す



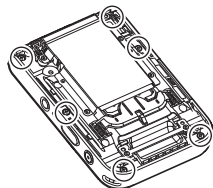
2. 背面カバーの丸で囲まれた部分を持ち、矢印の方向に回転させるようにして外す



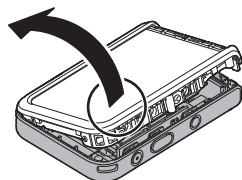
3. 先端カバーを矢印の方向に回転させるようにして外す



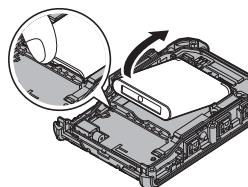
4. 背面のネジを6箇所外す



5. 液晶モニター丸で囲まれた部分を持ち、矢印の方向に回転させるようにして外す



6. 図の部分に指を掛けて、持ち上げるようにして電池を外す



■ 充電式電池の取り扱いについて(リサイクルのお願い)



不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

＜最寄りのリサイクル協力店へ＞

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

• ホームページ <http://www.jbrc.com/>

■ 使用済み電池の取り扱い注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

メモリーカードについて

使用できるメモリーカード、メモリーカードの入れ方については25ページをご覧ください。

■ メモリーカードについて

- 画像を再生したときに異常が発生した場合などは、フォーマット操作(90ページ)で復帰できますが、外出先などでこの操作ができない場合に備えて複数枚のメモリーカードをお持ちになることをおすすめします。
- メモリーカードは撮影/消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちてくるので、定期的にフォーマットすることをおすすめします。
- 静電気、電氣的ノイズ等により、記録したデータが消失または破壊することがありますので、大切なデータは別のメディア(CD-R、CD-RW、ハードディスクなど)にバックアップして控えをとることをおすすめします。

■ メモリーカードのご使用上の注意

- メモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合がありますので、できるだけ超高速タイプのメモリーカードをご使用ください。ただし、超高速タイプのメモリーカードであっても、すべての動作を保証することはできません。動画の画質設定によっては、記録時間がかかるため、画像が一瞬途切れたり、音声が中断する場合があります。
- 当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。詳しくは、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイトの「デジタルカメラお客様サポートメニュー」(<http://casio.jp/support/dc/>)をご覧くださいか、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

■ メモリーカードやカメラ本体を廃棄/譲渡するときのご注意

本機の「フォーマット」や「消去」機能では、メモリーカード内のファイル管理情報だけが変更され、データそのものが変更されないことがあります。メモリーカード内のデータは、お客様の責任において管理してください。たとえば以下のような手法をおすすめします。

- 廃棄の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。
- 譲渡の際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。

また、内蔵メモリーのデータは「フォーマット」機能(90ページ)で完全に消去してからカメラ本体を廃棄・譲渡することをおすすめします。

リセット操作でリセットされる内容

撮影モード、再生モードで表示されるメニューで、リセット操作(90ページ)でリセットされる(初期値になる)内容の一覧表です。

—:この記号の設定項目はリセット操作には影響がありません。

重要

- 撮影モードによって使用できないメニュー項目があります。


■ 撮影メニュー

メイクアップ	肌の色:0(切) 肌のなめらかさ: 0(切)	ホワイトバランス	オートWB
タッチ撮影	AF+撮影	ISO感度	オート
動画手ブレ補正	標準	フォーカス方式	AF
静止画サイズ	12M	鏡面反転	切
動画画質	FHD(30p)	風音低減	切
明るさ	0.0	撮影レビュー	タイプ2


■ 再生メニュー

回転表示	—
------	---

■ セットアップメニュー



液晶設定	0	表示スタイル	—
情報表示	入	Language	—
回転ロック	カメラ:切 コントローラー:切	スリープ	5分
カメラ音		フォーマット	—
パイプレーション	入	リセット	—
日時設定	—	バージョン情報	—

■ 無線設定

自動送信	切	位置情報	切
自動送信 ファイル設定	 のみ	無線LAN パスワード	—
送信時リサイズ	3M	ペアリング解除	—

故障かな？と思ったら


現象と対処方法

現象	考えられる原因と対処
電源について	
電源が入らない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) お買い上げ直後、電池は充電されていません。充電してからご使用ください。 2) 本機の電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(17ページ)。それでもすぐに電池が消耗するときは、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
電源が勝手に切れた。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本機の電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(17ページ)。 2) カメラの温度が一定温度を超えたため、保護動作が働いた可能性があります。カメラの電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度を下げたからお使いください。 3) 電源を入れたあと、動作確認ランプが赤く点滅して電源が切れることがあります。この場合、レンズエラーなどの内部エラーが考えられます。電源の入/切を繰り返したり、電池を充電してください。それでも解消しない場合は、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
電源が切れない。ボタンを押しても、カメラが動作しない。	カメラのメモリーカード挿入部付近とコントローラーの【USB】端子付近にあるリセットボタン(7ページ)を、先が細いもので押して電源を切り、再度電源を入れてください。
充電について	
動作確認ランプが赤く点灯せず、充電できない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) カメラおよびコントローラーに接続しているUSBケーブルを抜き差ししてください。 2) カメラおよびコントローラーの電源が切れた状態で、USBケーブルを接続してください。電源が入った状態でUSBケーブルを接続すると、充電が開始しない場合があります。
撮影について	
シャッターを押しても撮影できない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 再生モードになっている場合は、「」(撮影)をタッチして撮影モードにしてください。 2) 「メモリー残量が足りません」と表示されている場合は、パソコンに画像を転送後、不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットしてください。
ピントが合わない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) レンズが汚れている場合は、レンズの汚れを取ってください。 2) 手ブレしている可能性があります。カメラを置くなどして固定させて撮影してください。
画像にノイズが入る。	被写体が暗いとカメラの感度が自動的に上がるため、ノイズが発生する場合があります。ライトなどを使用して明るくして撮影してください。
撮影したのに画像が保存されていない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 記録が終了する前に電池切れになった場合、画像は保存されません。電池残量表示がになったら、速やかに電池を充電してください(17ページ)。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜いた場合、画像は保存されません。記録が終了する前にメモリーカードを抜かないでください。

現象	考えられる原因と対処
風景が明るいのに人物の顔が暗くなってしまった。	人物が光量不足です。“明るさ”を＋側に調整してください(50ページ)。
海岸やスキー場で撮影すると被写体が暗くなる。	海岸や雪面からの強い光の反射に露出が合っているため、露出不足になっています。“明るさ”を＋側に調整してください(50ページ)。
動画撮影中に画像がぼける。	1) 撮影範囲外のためピントが合っていません。撮影範囲内で撮影してください。 2) レンズが汚れている可能性があります。清掃してください(94ページ)。 3) 撮影開始時から被写体距離が大きく動いた場合は、ぼけることがあります。
再生について	
再生モードにならない。	インターバル撮影中は再生モードに切り替えることができません。
再生した画像の色が撮影時に液晶モニターで見た色と違う。	太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている可能性があります。直接光がレンズに当たらないようにしてください。
画像が表示されません。	DCF規格に準拠していない他のカメラで撮影したメモリーカードを使用した場合は、ファイル管理形式が異なるため再生できません。
画像を回転できない。	次の画像は回転できないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • 他のカメラで撮影した画像 • プロテクトがかかっている画像
消去について	
ファイルを消去することができない。	ファイルにプロテクトがかかっている可能性があります。プロテクトがかかっている画像を、本機で消去することはできません。
無線機能について	
無線に接続できない。接続が途切れる。	1) カメラとスマートフォンが離れていると、カメラに接続できません。 2) スマートフォンが他の無線機器と接続している可能性があります。スマートフォンのWi-Fi設定で、本機が選ばれているか確認してください(69ページ)。 3) 電子レンジやコードレス電話機、他の無線機器などを近くで使用している場合は、接続が途切れることがあります。機器から十分に離してお使いください。
パスワードを忘れた。	カメラの【●】(ムービー)とシャッターを押したまま【⏻】(電源)を6秒以上押し続けます。カメラの動作確認ランプが消灯し、パスワードが初期値に戻ります。パスワードを初期化すると、カメラとスマートフォンのペアリングが解除されますので、再度ペアリングを行ってください。パスワードの初期値については、69ページをご覧ください。
位置情報について	
位置情報が付け加えられない	1) カメラとスマートフォンがペアリングされ、Bluetooth無線技術で接続中かどうかを確認してください。 2) 静止画を撮影するとき、カメラの位置情報を“入”に設定してください(75ページ)。 3) スマートフォンが位置情報を取得できる状態にしてください。

現象	考えられる原因と対処
Bluetooth無線技術での接続について	
カメラとコントローラーを接続できない。	1) カメラとコントローラーが離れていると接続できません。 2) カメラがスマートフォンなどと無線LANで接続しているときはBluetooth無線技術での接続ができません。無線LAN接続を解除してください。 3) カメラをパソコンに接続している場合は、USBケーブルを抜いて接続を解除してください。 4) それでも接続できない場合は、以下の手順でカメラとコントローラーを再度ペアリングしてください。 ①カメラからメモリーカードを抜く ②カメラのシャッターを押したまま【⏻】(電源)を1秒以上押し続ける ③コントローラーのシャッターを押したまま【⏻】(電源)を6秒以上押し続ける カメラとコントローラーの動作確認ランプがともにオレンジ色に点滅して、Bluetooth無線技術での接続に必要なペアリングが開始します。
その他	
画面に表示される日時や記録したデータの日付が正しくない。	日時の設定が間違っているので、日時を設定し直してください(88ページ)。
画面に表示される言葉が外国語になっている。	表示言語の設定が間違っているので、表示言語を設定し直してください(89ページ)。
パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。	1) USBケーブルが確実に接続されていない可能性があります。コネクタ端子部を確認して、確実にカメラに接続してください。 2) カメラの電源が入っていない場合は、電源を入れてください。 3) USBケーブルをUSBハブなどを経由してパソコンと接続すると、正しく認識しない場合があります。USBケーブルはパソコンのUSB端子に直接接続してください。
カメラの電源を入れると、時計設定画面が表示される。	1) ご購入直後の初期設定をしていないか、電池が消耗状態でカメラを放置しています。各設定を確実に行ってください(24、88ページ)。 2) カメラ内部のメモリー管理エリアが壊れている恐れがあります。この場合は、リセット操作によりカメラの設定内容を初期値に戻してください(90ページ)。その後、各設定を確実に行ってください。再度カメラの電源を入れたときに時計設定画面が表示されなければ、カメラ内部のメモリー管理エリアが修復されました。再度電源を入れても時計設定画面が表示される場合は、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
画面に色々なマークや数字などが表示される	画面には撮影に必要な表示や撮影した画像の情報などが表示されます。セットアップメニューの“情報表示”を“切”にすると、画面に表示される情報表示の有無が選べます(87ページ)。
電源を入れた直後、ボタン操作ができない。	メモリーカードの容量が大きい場合、電源を入れてからボタン操作ができるまでの時間が長くなります。
画面に画像が表示されない。	1) カメラの電源が入っていない。 2) カメラとコントローラーがBluetooth無線技術で接続されていません(22ページ)。

画面に表示されるメッセージ

一定時間アクセスがなかったため、接続を中止しました	スマートフォンと接続できなかったときに表示されます。
温度が上昇したため電源をオフします	カメラ、もしくはコントローラーが一定温度を超えたため、保護動作が働いた可能性があります。 電源を切ったまましばらく放置し、温度を下げたからお使いください。
カードが異常です	メモリーカードに異常が発生したときに表示されます。電源を切って、メモリーカードを差し直してください。再度電源を入れても同じメッセージが表示される場合は、フォーマットしてください(90ページ)。  重要 <ul style="list-style-type: none">フォーマットを行うとメモリーカード内のすべての内容(ファイル)が消えてしまいます。フォーマットを行う前にパソコン等を利用して、メモリーカード内の正常なファイルを保存してください。
カメラとの接続に失敗しました電源をOFFします	カメラとコントローラーがBluetooth無線技術で接続できなかったときに表示されます(115ページ)。
この機能は使用できません	機能の組み合わせなどにより使用できない機能を使用した場合、操作の途中で表示されます。
このファイルを再生できません	ファイルが壊れているか、本機で表示できないファイルを表示しようとしています。
電池容量がなくなりました	カメラまたはコントローラーの電池がなくなったときに表示されます。
電池容量がなくなりました ファイルは保存されませんでした	カメラの電池がなくなったため、撮影した画像ファイルが保存されませんでした。
ファイルがありません	まだ何も記録していない状態、または記録内容をすべて消去して本機にファイルが一つもない状態です。
ファイルを作成できませんでした	対象となる画像が足りず、ハイライトフォトやハイライトムービーで画像が作成できなかったときに表示されます。
フォルダーが作成できません	999番のフォルダーの中に9999番のファイルが登録されている状態で、撮影しようとしたときに表示されます。撮影を続けるには、不要なファイルを消去する必要があります(31ページ)。
メモリー残量が足りません	撮影可能枚数を使い切った場合、または編集後のファイルを保存できるメモリーの空きがない場合に表示されます。不要なファイルを消去してください(31ページ)。

**問題が発生したため
インターバル撮影を
終了します**

メモリー残量が足りない、またはフォルダーが作成できないなどの理由でインターバル撮影が終了した場合に表示されます。撮影を続けるには、不要なファイルを消去する必要があります(31ページ)。

撮影可能枚数／撮影可能時間

静止画

静止画サイズ (pixels)	画像ファイル サイズ	内蔵メモリー※1 での撮影枚数	microSD メモリーカード※2 での撮影枚数
12M(4000×3000)	4.13MB	7	2286
5M(2560×1920)	2.99MB	14	4283

動画

設定内容/ pixels (音声)	転送レート (フレームレート)	1ファイル 最大サイズ	内蔵 メモリー※1 での 撮影時間	microSD メモリー カードでの 最大記録 可能時間※2	1分録画時の ファイル サイズ
FHD(30p) 1920×1080 (モノラル)	14.2メガビット/秒 (30フレーム/秒)	29分 または 4GBまで	26秒※3	2時間14分	106.5MB
STD 640×480 (モノラル)	3.8メガビット/秒 (30フレーム/秒)		1分41秒	8時間33分	28.5MB
HS240 512×384 (なし)	40.0メガビット/秒 (240フレーム/秒)		9秒	48分	300.0MB

※1 内蔵メモリーをフォーマット後の容量(約49.9MB)の場合です。

※2 16GB microSDHCメモリーカード(SanDisk Corporation製)の場合です。使用するメモリーカードによって撮影枚数・記録時間は異なる場合があります。

※3 内蔵メモリーでは、FHD(30p)動画の転送レートを十分に満足できません。超高速タイプのメモリーカードをご使用ください。(25、44ページ)

- 撮影枚数／撮影時間は目安(おおよその数値)であり、画像の内容によって少なくなることがあります。
- ファイルサイズ／転送レートは目安(おおよその数値)であり、撮影対象によって変化することがあります。
- 容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおよそその容量に比例した枚数が撮影できます。
- ハイスピード動画撮影時は、撮影時間と再生時間が異なります。ハイスピード動画で10秒間撮影すると、再生時間は80秒になります。

主な仕様／別売品

画像ファイル形式	静止画: JPEG(Exif Ver. 2.3)、DCF2.0準拠 動画: MOV形式、H.264/AVC準拠、IMA-ADPCM音声(モノラル)
記録媒体	内蔵フラッシュメモリー (画像記録エリア: 49.9MB※) microSD、microSDHC、microSDXC ※ 内蔵メモリーをフォーマット後の容量
記録画素数	静止画: 12M(4000×3000) / 5M(2560×1920) 動画: FHD(30p)(1920×1080 30fps) / STD(640×480 30fps) / HS240(512×384 240fps)
有効画素数	1020万画素
撮像素子	サイズ: 1/2.3型CMOS (裏面照射型) 総画素数: 1276万画素
レンズ	F値: F 2.8 焦点距離: f = 2.87 mm(35mm フィルム換算で16mm相当)
ズーム	デジタルズーム: 4倍
フォーカス	コントラスト検出方式オート フォーカス ・フォーカス方式: オートフォーカス/マクロ/ パンフォーカス ・AFエリア*: インテリジェント/マルチ/ スポット ※ 撮影モードによって、自動的に AFエリアの設定は切り替わり ます。
撮影距離 範囲 (静止画) (レンズ 先端から)	オートフォーカス: 約10cm~∞ マクロ: 約3cm~約10cm パンフォーカス: 約55cm~∞
露出補正	-2.0EV~+2.0EV (1/3EVステップ)
ホワイト バランス	オート/太陽光/曇天/日陰/ 昼白色蛍光灯/昼光色蛍光灯/ 電球/マニュアルホワイトバラ ンス

感度設定 (標準出力 感度)	静止画: オート/ISO64 / ISO100/ISO200/ISO400 / ISO800/ISO1600/ISO3200 動画: オート
----------------------	---

通信機能 (カメラ)	Bluetooth: ・通信規格: Bluetooth® 2.1+EDR 出カクラス: Class2 Bluetooth® 4.0 Wi-Fi: ・準拠規格: IEEE 802.11b/g/n ・使用周波数範囲: 1~11ch ・暗号化方式: WPA2
---------------	--

通信機能 (コント ローラー)	Bluetooth: ・通信規格: Bluetooth® 2.1+EDR 出カクラス: Class2
-----------------------	---

画像 モニター (コント ローラー)	3.0型TFTカラー液晶 921,600ドット 静電容量式タッチパネル
-----------------------------	---

外部 接続端子 (カメラ)	マイクロUSB端子(Hi-Speed USB準拠、USB充電、 USB給電駆動対応)
---------------------	--

外部 接続端子 (コント ローラー)	マイクロUSB端子(USB充電、 USB給電駆動対応)
-----------------------------	--------------------------------

マイク (カメラ)	モノラル
--------------	------

スピーカー (カメラ)	モノラル
----------------	------

電源	カメラ: リチウムイオン充電電池 (内蔵) コントローラー: リチウムイオン 充電電池(内蔵)
----	--

電池寿命

下記の電池寿命は温度23°Cで使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

静止画撮影枚数	約235枚※1 約285枚※2(カメラ単体動作時)
動画実撮影時間 (FHD(30p)動画) ※1	約55分
動画連続撮影時間 (FHD(30p)動画) ※2	約1時間20分
動画連続撮影時間 (ハイスピード動画 HS240)※2	約1時間30分
連続再生時間 (静止画)※3	約4時間10分

- 温度:23°C
- 使用電池:NP-150(定格容量:950mAh)
- 記録メディア:16GB microSDHCメモリーカード(SanDisk Corporation製 UHS-1シリーズ)

※1 CIPA(カメラ映像機器工業会)規格に準ずる

※2 カシオ基準による

※3 約10秒に1枚ページ送り

- 前記は、新品の電池のフル充電状態での数値です。繰り返し使用すると、電池寿命は徐々に短くなります。
- この数値は実際の使用での電池寿命を保証するものではありません。
- 高速連写の使用頻度や電源が入った状態の時間、その他設定、使用時の温度により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。

消費電力	カメラ:DC 5V 約3.6W コントローラー:DC 5V 約2.6W
------	--

外形寸法	カメラ: 直径60.9mm×奥行き33.3mm (ヒンジユニット含まず) コントローラー: 幅59.2mm×高さ86.7mm× 奥行き19.4mm 合体: 幅60.9mm×高さ154.8mm× 奥行き38.7mm(ヒンジユニット 含む)
------	---

質量	カメラ: 約76g(ヒンジユニット含まず、 メモリーカード含む) コントローラー:約103g 合体: 約214g(ヒンジユニット含む、 メモリーカード含む)
----	--

■ USB-ACアダプター (AD-C54UJ)

入力	AC100-240V 50/60Hz 90mA
----	----------------------------

出力	DC5.0V 650mA
----	--------------

使用周囲温度	5~35°C
--------	--------

外形寸法	幅64.6mm×高さ38.4mm× 奥行き24mm(突起部除く)
------	-------------------------------------

質量	約40g
----	------

■ 別売品

(2017年1月現在:発売予定品含む)

- USB-ACアダプター AD-C53U
- USB-ACアダプター AD-C54UJ
- EXILIMトライポッド
マウンター EAM-1
- EXILIMマルチアングル
クリップ EAM-2
- EXILIMマルチアングル
ベルトセット EAM-3
- EXILIMマルチアングル
スティック EAM-4
- EXILIM防水ハウジング EAM-5
- EXILIM防水ハウジング
(EAM-5)用アンテナケーブル EAM-6
- EXILIM LEDリングライト EAM-7

上記をはじめとする別売品の最新情報については、携帯電話やスマートフォンで下のQRコードを読み取るか、下記アドレスに接続して、Webサイトでご確認ください。
また、カタログでもご確認いただけます。



<http://casio.jp/dc/option/>

別売品は、お買い求めの販売店、または
e-casio カシオオンラインショッピング
にご用命ください。

URL: <http://www.e-casio.co.jp/>

CEマーキングは、ヨーロッパ地域の基準適合マークです。



Manufacturer:
CASIO COMPUTER CO., LTD.
6-2, Hon-machi 1-chome, Shibuya-ku, Tokyo 151-8543, Japan

Responsible within the European Union:
Casio Europe GmbH
Casio-Platz 1, 22848 Norderstedt, Germany
www.casio-europe.com

To comply with the relevant European RF exposure compliance requirements, this EX-FR100LCA, EX-FR100LCT must not be co-located or operating in conjunction with other transmitter.

Note: This equipment is intended to be used in all EU and EFTA countries. Outdoor use may be restricted to certain frequencies and/or may require a license for operation.

For more details, contact your customer service representative.

Frequency band and maximum output power

- EX-FR100LCA
 - IEEE802.11b/g/n(2.4GHz) ≤ 14.5 dBm
 - Bluetooth(2.4GHz) ≤ 4 dBm
 - Bluetooth LE(2.4GHz) ≤ 4 dBm
- EX-FR100LCT
 - Bluetooth(2.4GHz) ≤ 4 dBm

Hereby, Casio Europe GmbH, Casio-Platz 1, 22848 Norderstedt, Germany, declares that the radio equipment type Digital Camera Model EX-FR100LCA, EX-FR100LCT is in compliance with Directive 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:<http://doc.casio.com>

CAUTION

Risk of explosion if battery is replaced by an incorrect type.
Dispose of used batteries according to the instructions.

索引

英数字

Bluetooth	22, 63
DCF 規格	86
EXILIM Connect	66
FHD(30p) 動画	43
ISO 感度	52
Language	89
microSD メモリーカード	25
microSDHC メモリーカード	25
microSDXC メモリーカード	25
USB ドライバー	83

あ

アートショット	36
明るさ	50
位置情報	75
印刷	77
インターバル撮影	39
液晶設定	87
液晶モニター	8
オート	28
オートフォーカス	33, 52

か

回転表示	62
回転ロック	87
拡大	56
画素	49
画像サイズ	49
カメラ音	88
鏡面反転	53
高速連写	35

さ

再生 (再生モード)	31, 55
撮影 (撮影モード)	28, 34
撮影レビュー	54
時刻	24, 88
自動送信	73
自動送信ファイル設定	74
充電	17, 107
消去	31
情報表示	87
ズーム	42

スマートフォンから見る	72
スマートフォンで撮影	70
スマートフォンへ送る	71
スリープモード	23, 89
静止画	28, 31
静止画サイズ	49
送信時リサイズ	74

た

耐衝撃性能	91
タイムラプス	60
タッチ撮影	47
タッチパネル	16
手ブレ	44, 48
電源	107
電池	17
電池残量	21
動画	43, 55
動画画質	43, 50
動画手ブレ補正	48

な

内蔵メモリー	25
日時	24, 88
日時設定	88

は

ハイスピード動画	43, 44
パイプレーション	88
ハイライトスコア	59
ハイライトフォト	58
ハイライトムービー	56
パソコン	78
パンフォーカス	52
美脚ガイド	38
日付	24, 89
表示言語	89
表示スタイル	89
ピント	29, 33
ファイル	85
風音低減	53
フォーカスフレーム	48
フォーカス方式	52
フォーマット	27, 90
フォルダー	85, 86
プリンター表示	77

プリント	77
プレミアムオート PRO	28
ペアリング解除	76
防塵性能	91
防水性能	91
ホワイトバランス	51

ま

マクロ	52
ムービー	43, 55
無線 LAN	63
無線 LAN パスワード	76
無線設定	73
メイクアップ	47
メイクアップアート	37
メッセージ	116
メッセージの言語	89
メニュー	46
メモリーカード	25, 90, 111

ら

リセット	90
リセットボタン	113
露出補正	50

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

MA1706-B

© 2017 CASIO COMPUTER CO., LTD.